

第 4 章【ブラジル】農業政策や通商政策の動向に関する現状

4-1 政治・経済・社会情勢

(1) 国家概要

ブラジル連邦共和国（以下、ブラジルという）は南アメリカ大陸に位置する国家である。国土面積は日本の 22.5 倍の 8,514,876 平方キロメートルで、ロシア・カナダ・米国・中国に次いで世界第 5 位に位置付けられる。ブラジルの国土面積のうち約 6 割近い 4,925,540 平方キロメートルが森林である。また、国土面積のうち農地・耕地・永久農地の占める割合はそれぞれ 33.9%・9.7%・0.8%となっている。

2018 年時点のブラジルの人口は約 2 億 947 万人で世界 5 位の規模である。政体は連邦共和制（大統領制）であり、議会は二院制をとっている。大統領は 2019 年 1 月よりジャイル・メシアス・ボルソナード（H.E.Mr. Jair Messias Bolsonaro）である。

図表 113 南アメリカ大陸とブラジルの位置



出典: UN Geospatial

図表 114 ブラジルの概要

項目	基礎情報
人口	約 2 億 947 万人 (2018 年)
面積	851.2 万平方キロメートル (日本の 22.5 倍)
首都	ブラジリア
民族	欧州系 (約 48%), アフリカ系 (約 8%), 東洋系 (約 1.1%), 混血 (約 43%), 先住民 (約 0.4%) (ブラジル地理統計院, 2010 年)
言語	ポルトガル語
宗教	カトリック約 65%, プロテスタント約 22%, 無宗教 8% (ブラジル地理

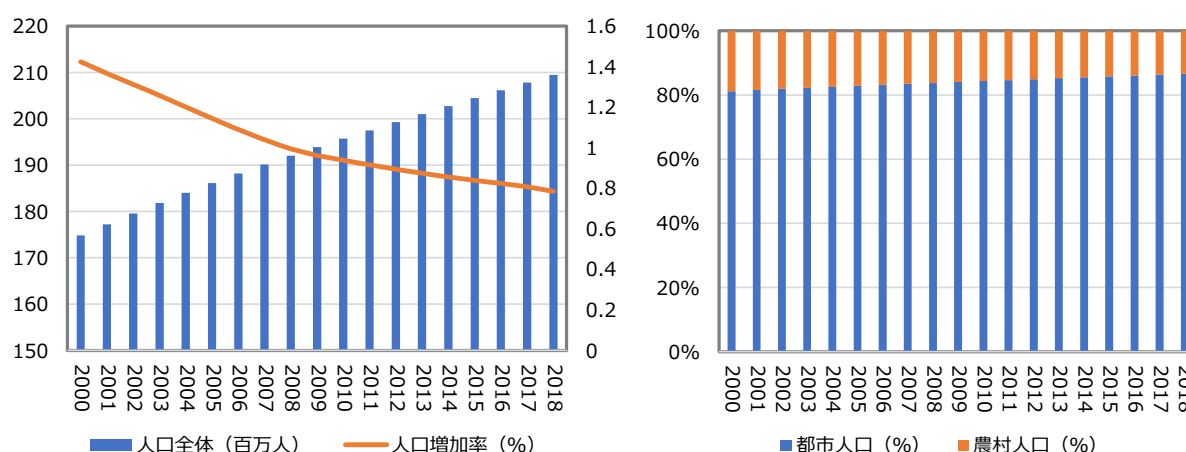
項目	基礎情報
	統計院, 2010 年)
政体	連邦共和制 (大統領制)
元首	ジャイル・メシアス・ボルソナーロ大統領 (2019 年 1 月 1 日より)
議会	二院制 (上院 81 名, 下院 513 名)
政府	(1)首相名 なし (2)外相名 エルネスト・エンリケ・フラガ・アラウージョ

出典:外務省

(2) 人口動向

ブラジルの人口は 2000 年時点で約 1 億 7,000 万人であったが、その後増加を続け 2013 年には 2 億人を超えている。人口増加率をみると、2000 年は 1.4% 台であったが、その後緩やかに低下し現在は 0.8% 台となっている。都市人口の割合は 2000 年の 81% から上昇し現在は 86% に至っている。一方、農村人口は 2000 年の 18% から 2018 年には 13% へと減少がみられる。

図表 115 ブラジルの人口・人口増加率（左）と都市人口・農村人口の変化（右）



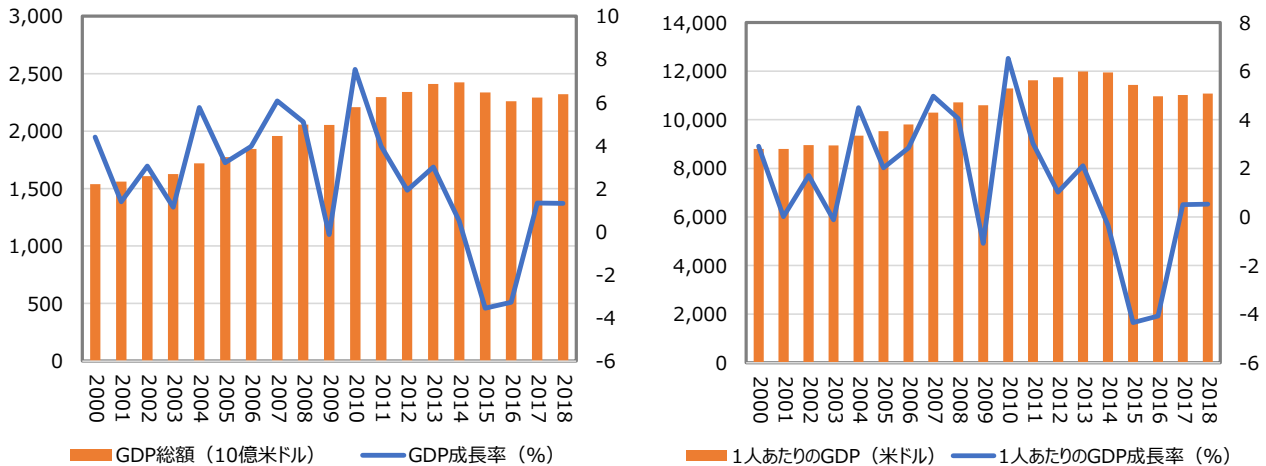
出典:世界銀行統計情報に基づき富士通総研にて整理

(3) 経済動向

ブラジルの経済動向をみると、国内総生産（Gross Domestic Product : GDP）は 2000 年の 1.5 兆ドルから増加を続け、2008 年には 2 兆ドルを超えたが、2014 年以降は 2 兆 4,000 億～2 兆 2,000 億ドルの間を推移している。GDP 成長率に関しては、2000 年は年間約 5% であったが、その後 2010 年に 7% を記録した後減少に転じた。2015～16 年はマイナス成長を記録している。2020 年の GDP は COVID19 の影響で 5.8% マイナスになる見込みである⁹⁹。一人あたりの GDP は 2000 年時点の 8,800 ドルから増加を続け、2007 年には 1 万ドルを超えている。

⁹⁹ IMF, "IMF data mapper" 2020.10, <https://www.imf.org/en/Countries/BRA#countrydata>, 2021 年 2 月 15 日アクセス

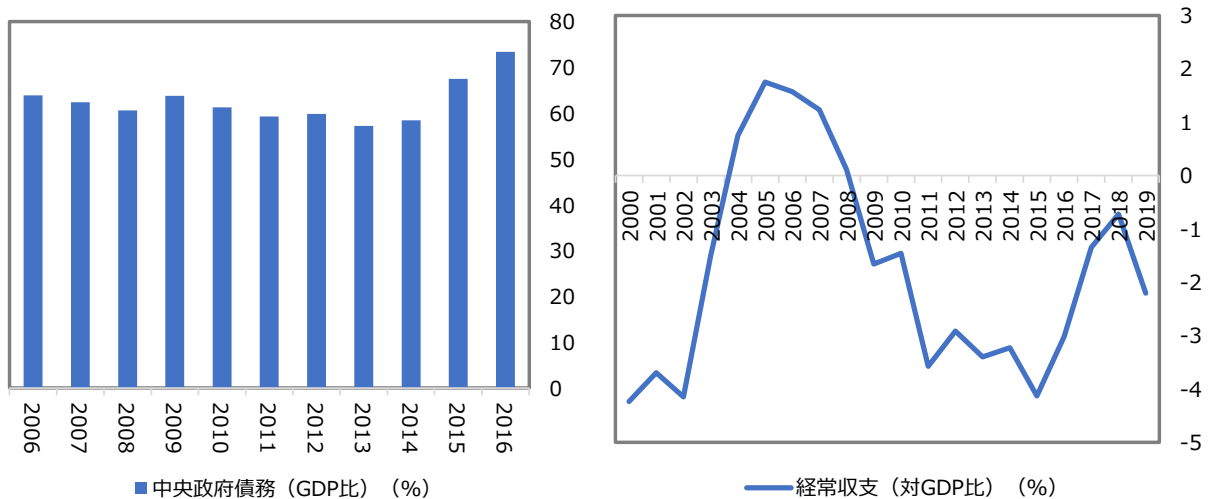
図表 116 GDP 総額と成長率（左）・一人あたり GDP と成長率（右）



出典：世界銀行統計情報に基づき富士通総研にて整理

中央政府債務の対 GDP 比をみると、60%台が継続していたが 2014 年から上昇し 2016 年には 70%を超えている。また、経常収支の対 GDP 比は 2004~2008 年はプラスであったが、その後はマイナスに転じ、2019 年現在は 2%のマイナスを記録している。

図表 117 中央政府債務（対 GDP 比）（左）と 経常収支（対 GDP 比）（右）

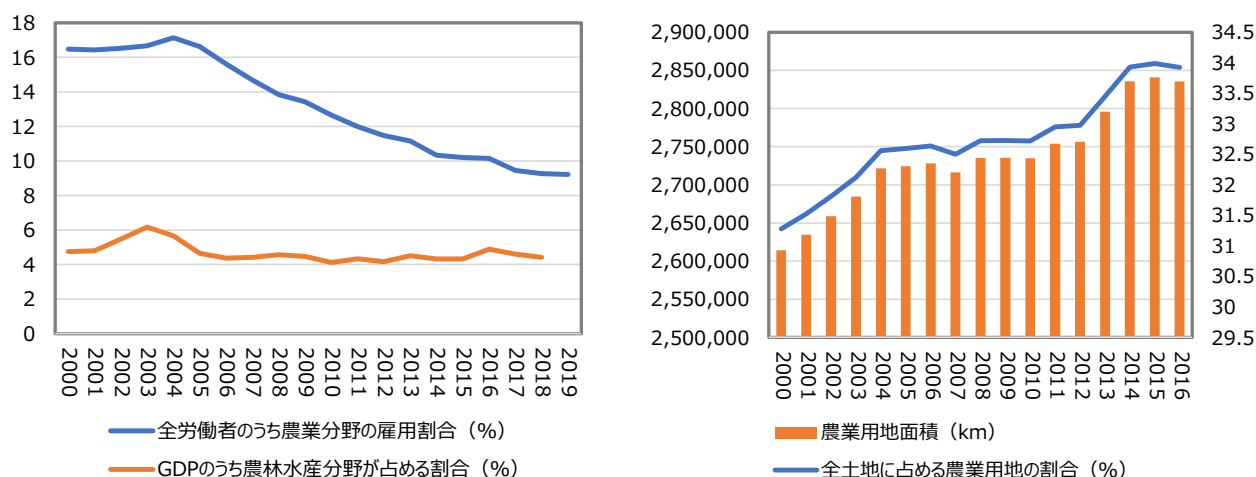


出典：世界銀行統計情報に基づき富士通総研にて整理

(4) 経済の中の農業の位置づけ

ブラジルの GDP のうち農林水産分野が占める割合は約 5%台を推移している。全労働者のうち農業分野に従事する割合は 2000 年の 16%から減少傾向にあり、現在は 10%を下回っている。一方、農業用地面積は 2000 年時点では 260 万 k m^2 から増加を続け、現在は 280 万 k m^2 を超えている。

図表 118 農業分野の雇用割合・GDP のうち農林水産分野の割合（左）・農業用地面積・全土地に占める農業用地の割合（右）



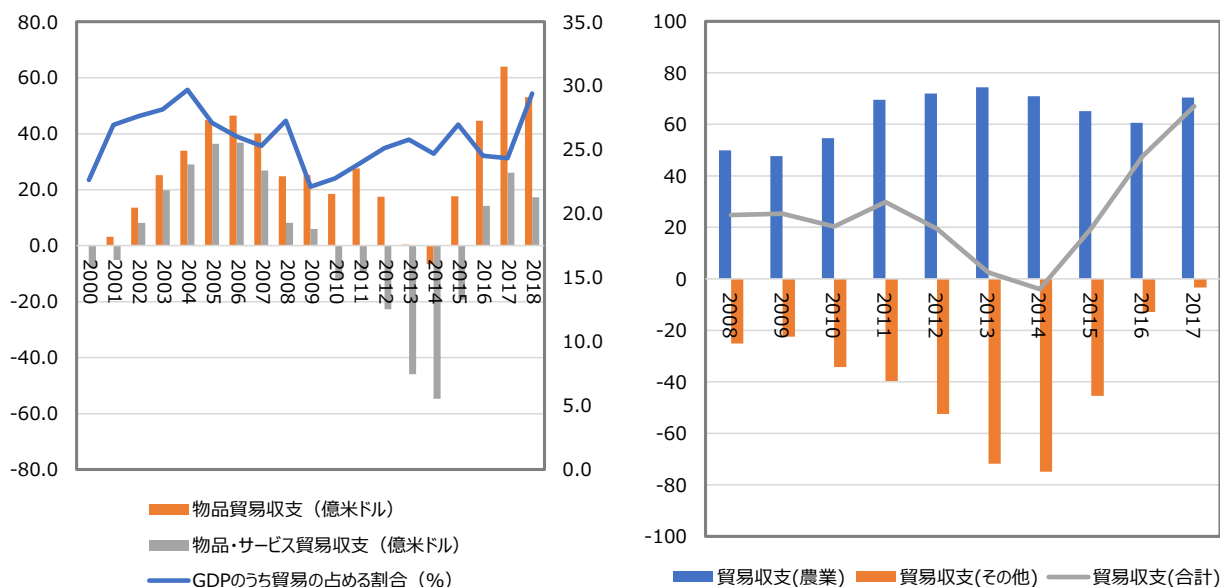
出典:世界銀行公開資料に基づき富士通総研にて整理

(5) 貿易額推移等

貿易の GDP に占める割合は 2000 年には約 23%であったが、その後は増減を続け 2018 年時点では 29.4%に至っている。また、貿易収支（物品・サービス）は 2010~2015 年には赤字となったが、2015 年以降は黒字をとっている。

農業分野とそれ以外の分野の貿易収支をみると、農業分野はプラスが継続しており、それ以外の分野はマイナスが継続している。農業分野のプラスの貿易収支がブラジルの貿易収支全体を引き上げていることがわかる。2020 年は COVID19 の影響があるものの、レアル安・中国需要などの要因から農作物輸出は引き続き拡大している。

図表 119 貿易の GDP に占める割合及び貿易収支（左）・農業分野とその他の貿易収支（右）



出典:世界銀行公開資料に基づき富士通総研にて整理

ブラジルの農業分野の輸出額を 2019~2020 年（1~5 月対象）で比較すると、前年比で 15%程度増加をしている。品目別では冷凍豚肉・綿花・粗糖の輸出で 40~50%程度の増加がみられる。また、ブラジルの農業分野の輸出全体に占める中国の割合は 1 年で約 35%から 42%へ増加をしている。

図表 120 ブラジルの農業分野の輸出額 2019~2020 年比較（1~5 月）（単位：ドル）

品目	輸出額(1~5 月)		増加率	対中輸出の割合	
	2019 年	2020 年		2019 年	2020 年
農業分野の総輸出額	\$31,419,508,749	\$36,093,224,657	14.88%	34.55%	41.77%
大豆	\$12,369,712,175	\$16,335,082,076	32.06%	72.92%	72.77%
冷凍牛肉	\$1,822,098,356	\$2,495,340,827	36.95%	32.23%	58.81%
大豆粕	\$2,387,971,155	\$2,334,378,103	-2.24%	0.00%	0.11%
粗糖	\$1,483,652,885	\$2,079,908,323	40.19%	7.98%	8.95%
コーヒー、ノンロースト、ノンカフェイン	\$1,956,163,719	\$1,983,550,788	1.40%	0.66%	0.39%
冷凍チキンカット	\$1,883,222,415	\$1,855,516,834	-1.47%	23.71%	31.07%
綿花	\$800,250,539	\$1,221,167,256	52.60%	25.29%	25.94%
冷凍豚肉	\$503,381,451	\$801,898,236	59.30%	30.48%	58.15%
冷凍ホールチキン	\$627,489,496	\$598,440,950	-4.63%	0.02%	0.23%
タバコ	\$775,062,875	\$461,444,331	-40.46%	17.57%	0.24%

出典:MAPA 資料に基づき富士通総研にて整理

(6) ボルソナロ政権の方向性

ボルソナロ政権は経済自由主義を掲げ、市場の役割を重視した「小さな政府」への政策転換を表明し、2019 年 1 月に誕生した。具体的な政策としては省庁削減、ゼロベースの予算査定、民営化の推進、社会保障制度改革の実現、関税・非関税障壁の低減と新たな通商協定の締結、生産性の向上、ビジネス環境改善などをあげた。ボルソナロ政権では省庁再編が実施され、省庁数は 29 から 22 に整理・統合された。このうち経済省には、これまでの財務省、企画開発行政管理省、商工サービス省の 3 つの機能に加えて、労働雇用省の一部が移管された。ボルソナロ大統領の選挙公約において設定されていた環境省を農牧食料供給省（Ministerio da Agricultura, Pecuaria e Abastecimento : MAPA）に統合する案は環境団体などの反対もあり実現はしていない。

ボルソナロ大統領は就任 100 日以内に 35 項目を実施すると公約していた。100 日後の実施状況はこのうち 13 項目にとどまっている。具体的には、空港や道路の運営権民営化、INSS 不正削減対策、前政権の 29 省庁から 22 省庁への官庁合併、政治家指名の信任公務員の大幅削減、銃器所有規制緩和の大統領暫定令、米国・カナダ・オーストラリア・日本からの短期ビザ免除の大統領暫定令などが実施された¹⁰⁰。

¹⁰⁰ ブラジル日本商工会議所、「ボルソナロ政権 100 日の 35 目標項目のうち僅か 13 項目実施に留まる」、2019 年 4 月

図表 121 ボルソナロ新政権の発足後 100 日間における 35 の目標（一部抜粋）¹⁰¹

分野	内容
農牧食料供給省 (MAPA)	● 家族農業プログラムの適格性認定の有効期限を 2 年に延長
市民省	● 低所得者向け給付金制度（ボルサ・ファミリア）に関して 13 か月目給付（正規労働者に与えられる年末特別給与に相当）を創設（1,400 万家族が制度を享受）。若いアスリートを支援するアスリート基金（ボルサ・アトレタ）の近代化
科学技術・革新・通信省	● 半乾燥地域における土壌改善に向け脱塩技術試験センターの設立（北東部における半乾燥地域での飲料水供給の改善） ● 大学、公立学校における科学教育の強化
地域開発省	● 特に北東部における水供給の改善に向けた、国家水資源安全保障計画の実施
経済省	● 国家社会保障院（INSS）の給付金に関する不正受給の取り締まり。 ● 公的組織における特別任用ポスト 2 万 1,000 の削減 ● 貿易円滑化措置を通じた国際経済との繋がり強化 ● 行政効率化措置の導入と公務員採用許可の連携
教育省	● 識字率向上プログラムの実施
インフラ省	● 交通部門の民営化による、鉄道、12 の空港インフラへの投資拡大、10 の港湾ターミナルの入札実施
法務・公共安全省	● 武器保有の緩和措置。犯罪撲滅法案の提出。汚職捜査ラヴァジャット支援
環境省	● 環境破壊に対する罰則制度など環境回復システムの改良。海洋投棄撲滅計画の策定
鉱山・エネルギー省	● ペトロブラスが 2010 年に連邦政府との間で一定量まで独占的に開発を認められた石油鉱区での産出に関して、余剰分の入札実施
女性・家族・人権省	● 自殺、未成年者の自傷行為防止キャンペーンの実施。障がいを持つ人の人権を保障し社会包摂を進める法令の一部を制定。3 万 1,000 の家族が実践している家庭教育に関する権利を制定
外務省	● メルコスールの関税削減
保健省	● 五種混合、ポリオ、肺炎球菌、ウイルス三種混合、黄熱病のワクチン接種拡大
観光省	● ブラジルへの投資増加を目的とした観光ビジネス環境改善（世界遺産観光管理政策の実施。連邦レベルでの観光管理制度の導入に向けた法整備）
大統領府事務局	● ブラジル放送公社（EBC）の再構築（組織の合理化と内容の付加価値化）
大統領府事務総局	● 管理と公的資金利用に関する改善に向けた国家近代化
連邦総監督庁	● 連邦政府の政治任用ポストの規定、基準の策定 ● 学校教育での倫理、市民教育の強化に向けたプログラムの実施 ● 連邦政府における汚職撲滅委員会の設置。行政における反汚職制度の設置
連邦総弁護庁	● 連邦政府の債務者の負債支払い簡素化に向けた行政窓口の電子化

(7) COVID19 による影響

① 概要

ブラジルでは 2020 年 2 月に COVID19 が確認されて以来、2021 年 3 月現在まで感染者の増加が続いている。保健省は 6 月初旬に累計 72 万人が感染し 4 万人が死亡したと発表した。その後も感染拡大は継続し、11 月初旬時点での累計感染者数・死亡者数は 559 万人・16.1 万人となった。2021 年 2 月 15 日現在、COVID19 の累計感染者数・死亡者数は 980 万人・23.8 万人を記録している。

ブラジルの連邦議会は 2020 年 3 月 20 日に「公的災害状態」を宣言し、COVID19 に対応するために

¹⁰¹ JETRO, 「ラテンアメリカ・レポート Vol.36 No.1」、2019 年 7 月

プライマリバランス達成に向けた政府の義務を一時的に停止した¹⁰²。COVID19 への対策としては GDP の最大 10%に達する財政措置を発表した。財政措置には、脆弱な世帯への一時的な所得支援、雇用支援などが含まれた。また、中小企業や零細企業への与信枠で GDP 約 1%規模の支援をすることで、従業員コストや運転資金などの補填を実施した。地方政府レベルでは、学校の閉鎖や重要性の低いビジネスの制限など対策を実施した。外国人の入国制限も実施され、ブラジル人・輸出入貨物・国際機関の専門家などを除いて国境が閉鎖された。

② 農業分野への影響と政府の対応¹⁰³

穀物分野では、多くの作物は地方政府がソーシャルディスタンスの措置を行う前にすでに作付けされているか、部分的に収穫されていたため、COVID19 の農業生産への影響は限定的であった。また、畜産分野ではブラジルのサプライチェーン構造がパンデミックの影響を抑えるのに効果的作用した。ブラジルの食肉処理場は広く国中に分散している傾向があるため、一地域にクラスターが発生してもその影響が限定的であった。また、ブラジルは米国に比べて小規模な食肉処理場が多いため、南部のリサンタ・カタリーナ州のようにいくつかの処理場が閉鎖されても食肉供給にはほとんど影響を与えなかった。こうした要素が重なり、大規模なサプライチェーンの断絶は発生しなかった。

政府の対応としては、MAPA がすべての農産物・インプット・サービス・関係する活動をエッセンシャル（必要不可欠）な要素であると宣言した。「エッセンシャル」に含まれる対象としては、(1)労働者・貨物の輸送活動、(2)生産物・燃料の配給・販売、(3)消費財の配給・保管、(4)農作物加工チェーン、(5)2020~2021 作物年度作付けに必要なサプライチェーン、(6)国民の食料配給の 6 つに設定された。

また、MAPA は COVID19 の農業生産や食料供給への影響を最小限に抑えるために COVID19 危機委員会を設置した。同委員会は MAPA 大臣に直属し、(1)MAPA、(2)CONAB (Companhia Nacional de Abastecimento : 国家食料供給公社)、(3)EMBRAPA (Empresa Brasileira de Pesquisa Agropecuária : ブラジル農業研究公社) により構成される。COVID19 危機委員会は、消費者小売関係の流通ネットワーク、農薬・殺虫剤製品の流通ネットワーク、飼料流通ネットワークなどをモニタリングする。モニタリング結果に基づき、同委員会は短期的な措置と中長期的な構造調整を立案している。

このほか、連邦政府は家族経営農家から生産物を購入するプログラムに約 1 億ドルを割り当てた。これにより、約 8 万 5,000 人の家族経営農家が恩恵を受けた。また、12,500 の事業体と 1,100 万の社会的弱者が食料供給を受けた。

③ 物流分野への影響と政府の対応¹⁰³

陸上物流分野では、COVID19 の感染拡大初期にはトラック停車場・ガソリンスタンド・ロードサイドレストランの多くが地方自治体の命令で閉鎖された。そのため、一部のドライバーは道路を避けてトラックの交通量が減少した。その後、ブラジル植物油工業会 (ABIOVE) はトラック運転手が農産物輸

¹⁰² Reuters, "Brazil Senate approves state of emergency to fight coronavirus", 2020.3

送を継続できるよう軽食キットの配布を実施するなどして、陸上物流の維持向上に努めた。

一方、全国穀物輸出業者協会（ANEC）の評価では COVID19 下でも港湾は通常通りに運営されていた。水運庁（ANTAQ）によると、ほとんどの港湾では 2019 年と比較してバルク貨物の取り扱い量が多い状態となった。例えば COVID19 がブラジル全土に急速に広がる中、サントス港は 2020 年 4 月に 1,340 万メートルトン（MMT）の商品を取り扱い、記録的な大豆輸出に牽引され 2019 年 4 月の取り扱い量を 26.8% 上回った。また、ブラジルは 3 ヶ月連続で大豆の輸出量を記録した。ブラジル第 2 の港であるパラナグア港では、5 月の大豆輸出量が 2019 年 5 月の 2 倍以上となった。ルイス・フェルナンド・ガルシア港長は、COVID19 危機にもかかわらず、レアル安が輸出を促進し、また乾燥した天候が安定した出荷ペースを保証したと指摘している。

政府の対応として、国土交通庁（ANTT）は食料や農産物の生産・加工・輸送がエッセンシャルに該当すると判断した。これにより、運転免許証や自動車登録証の更新を最大 120 日まで延期した。また、トラック事故の当局への報告期限も 24 時間まで延長された。また、鉄道事業者や鉄道技術者の免許更新が義務付けられていたが、これも 120 日延期された。

④ 関係者からの評価

COVID19 の農業への影響は、政府によるエッセンシャル指定が早期に行われたため、生産における大きな混乱はみられなかった。また、輸送に関しては一時的な麻痺がみられたが、こうした問題もエッセンシャル指定が行われた後に解消された。そのため、農業生産や輸送における COVID19 の影響は限定的であった。このほか、COVID19 の実際の対応は州政府による裁量の幅があることから、ボルソナロ大統領の発言とは異なりマスク着用の義務化やロックダウンなどを各種対策が実施されていたとの評価もあった。

図表 122 ヒアリング結果の要点

主な評価・認識
【現地の COVID19 の状況】※2020 年 11 月時点 ● COVID19 に関しては大統領の奔放な発言が注目されたが、最近では全州的に感染者数・死者数の増加の勢いは減ってきている。ただ、北部の州では増えていく傾向がある。それをふまえ日系企業がブラジルに駐在員を再配置することをためらう事態も出ている。ブラジルは沿岸部から中央部に感染が広がっていった。内陸部についてはまだ状況が厳しいということも聞く。アマゾンに関しては現地の報告を聞く限りでは状況が改善しつつある。 ● 州の中の経済活動・衛生管理については州知事が強い権限を持っている。従ってボルソナロ大統領の発言は雲の上の話でしかない。州知事は早期にマスク着用義務化やロックダウンなど、他の国の実施している施策を取り入れている。実効性があつたかどうかは別であるが、やるべきことは実施されていると考えている。
【COVID19 の影響・政府の対応】 ● COVID19 が発生してから、大統領令で必要不可欠（エッセンシャル）な活動を指定した。その中には食料の生産・流通も含まれている。それをふまえ、クリスティーナ農務大臣も早い段階で農業は必要不可欠だと判断をした。COVID19 が直接的な原因となって農業生産がとまっ

¹⁰³ USDA, "Brazilian Agricultural Sector Thrives Despite COVID-19 Pandemic", 2020.6

主な評価・認識

たということはないと考えている。

- サプライチェーンに関して、当初は若干食肉施設でクラスターが発生するなどした。トラックによる運搬に関しても、幹線道路沿いのレストランなどが休止していたため一時的に麻痺したが、政府が輸送活動を必要不可欠（エッセンシャル）であると指定したことにより、早期に通常に近い動きになり解消された。実際に生活をしていて、日本のように食料品が欠品することは少なくとも首都ブラジリアでは起こらなかった。
- ルーラ政権の支持者の多いブラジルの北東部の地域では、ボルソナロ大統領にとってネックになっていた。ボルソナロ大統領は次期選挙での再選を狙うにあたり、左派を支持する貧民層にもターゲットを当てている。緊急給付金に関してはそのエリアを含む貧民層を意識した政策となっている。当初給付金は3か月を限定に月 600 レアルを配付していたが、2 か月延長となった。また、中止に反対する声もあったため、半額にして年末まで給付を続けるという方向性となっている。最近、ボルソナロ政権の支持率は改善傾向になる。これはまさに給付金の政策が貧困層に効果があったということだと考えている。
- COVID19 を通じて、貧困者向けの政策は注目を集めている。ボルソナロ政権においてここまで明確に貧困者をターゲットとする政策は COVID19 前には目立っていなかったと感じている。

4-2 農業政策の現状・方向性

(1) 主な生産物・地理気候条件

ブラジルは北部の多くが赤道気候であり、中部は熱帯や高地熱帯、東部は半熱帯、南部は亜熱帯となっている。2019/20年の作物生産量予測では、大豆（1.2億トン）が最も大きく、とうもろこし（1.0億トン）、米（1,000万トン）、小麦（5,400万トン）、綿実（4,300万トン）などが続いている。

図表 123 主な作物の生産量（単位：1,000 トン）

作物名	2019/20(予測)
大豆	120,329.6
とうもろこし	102,336.6
米	10,884.3
小麦	5,432.8
綿実	4,315.0
豆類	3,048.1
ソルガム	2,379.6
オーツ麦	903.5
ピーナッツ	557.3
大麦	383.7
ごま	127.5
ひまわり	75.1
キャノーラ	47.9
ライ小麦	43.0
トウゴマ	33.1
ライ麦	10.0
合計	250,907.1

出典: CONAB 統計資料に基づき富士通総研にて作成

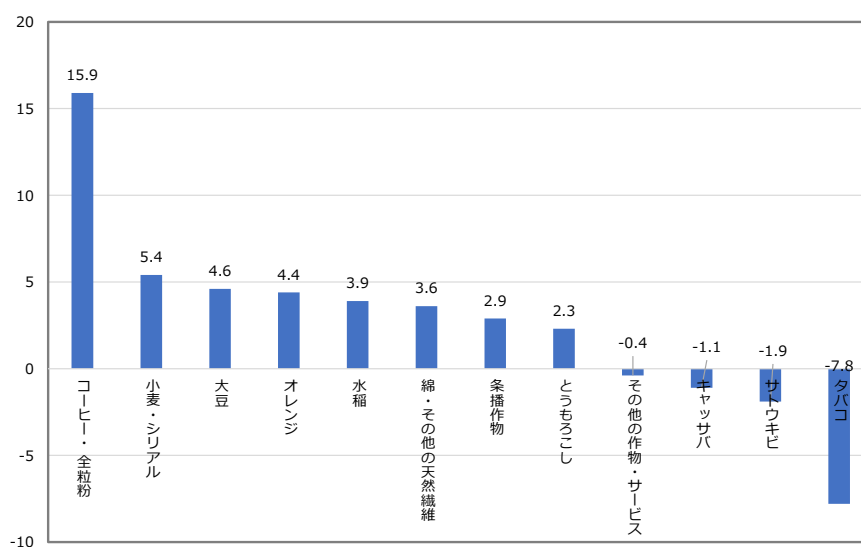
図表 124 気候条件



出典: CONAB

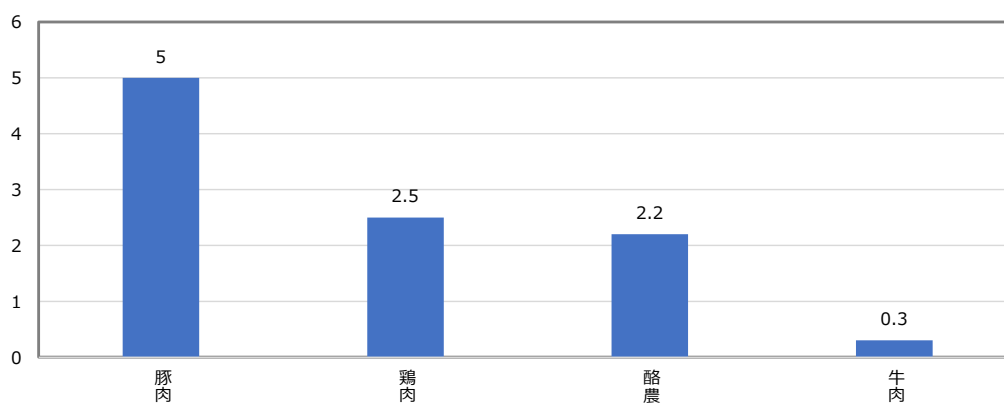
COVID19 の影響をうけながらもブラジルの農業は成長が見込まれ、2020 年は 2.3% の成長が予想される。穀物分野ではコーヒーの成長率が 15.9% と最も高く、次いで小麦、大豆、オレンジなどとなっている。畜産分野では豚肉が 5% と最も高く、次いで鶏肉、酪農、牛肉の順である。

図表 125 生産増加率 (%・年) (作物等)



出典: CONAB 統計資料に基づき富士通総研にて作成

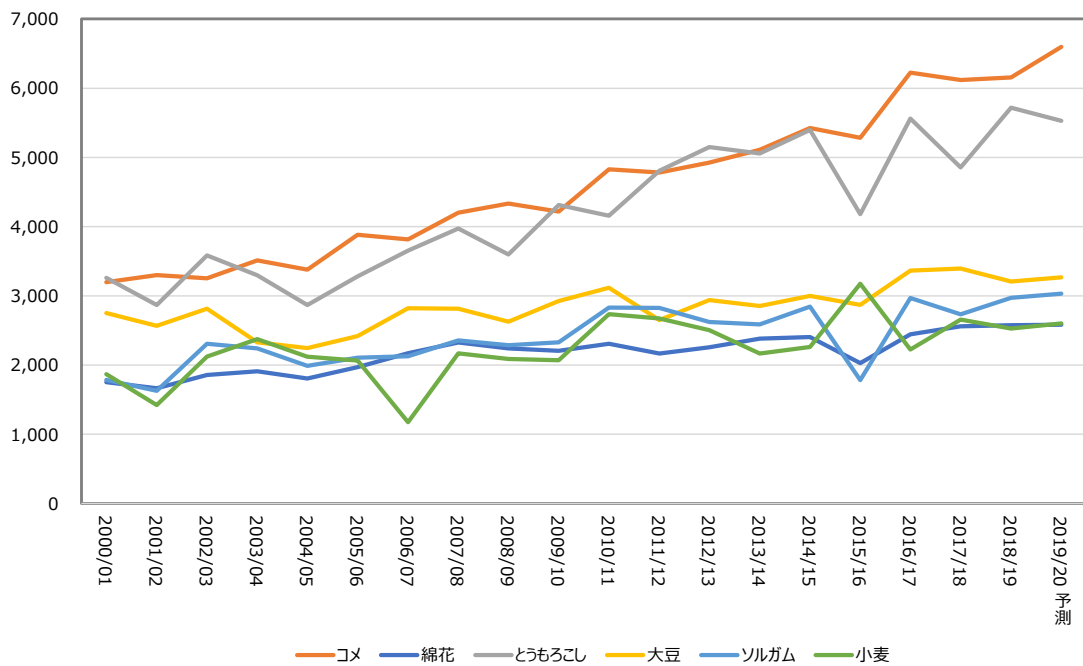
図表 126 生産増加率 (%・年) (畜産)



出典: CONAB 統計資料に基づき富士通総研にて作成

1 ヘクタールあたりの生産量の推移では、米・とうもろこしは 2000 年時点と比較して 2,000kg 以上増加している。

図表 127 1ヘクタールあたりの生産量推移（単位：kg）



出典：CONAB 統計資料に基づき富士通総研にて作成

図表 128 1ヘクタールあたりの生産量推移（単位：kg）

作物名/年	09/10	10/11	11/12	12/13	13/14	14/15	15/16	16/17	17/18	18/19	19/20(*)
綿花	2,205	2,306	2,166	2,257	2,381	2,406	2,028	2,445	2,560	2,575	2,582
ピーナッツ	2,687	2,674	3,137	3,379	2,998	3,183	3,396	3,606	3,704	2,962	3,481
米	4,218	4,827	4,780	4,926	5,108	5,422	5,281	6,223	6,118	6,153	6,595
オーツ麦	1,931	2,464	2,310	2,339	2,001	1,853	2,840	1,862	2,116	2,209	2,266
キャノーラ	1,361	1,505	1,226	1,330	812	1,236	1,514	848	1,394	1,429	1,417
ライ麦	1,333	1,333	1,522	1,800	1,944	1,706	2,600	1,722	2,083	2,083	2,128
大麦	2,599	3,230	3,451	3,510	2,606	2,568	3,921	2,602	3,159	3,612	3,179
豆類	921	935	895	913	1,026	1,062	886	1,069	982	1,032	1,043
ごま	-	-	-	-	-	-	-	-	-	780	797
ひまわり	1,137	1,250	1,563	1,570	1,597	1,374	1,216	1,653	1,489	1,669	1,587
トウゴマ	637	644	193	180	441	573	477	470	631	658	725
とうもろこし	4,311	4,158	4,808	5,149	5,057	5,396	4,181	5,562	4,857	5,719	5,527
大豆	2,927	3,115	2,651	2,938	2,854	2,998	2,870	3,364	3,394	3,206	3,266
ソルガム	2,328	2,831	2,824	2,621	2,587	2,844	1,782	2,967	2,731	2,973	3,030

作物名/年	09/10	10/11	11/12	12/13	13/14	14/15	15/16	16/17	17/18	18/19	19/20(*)
小麦	2,070	2,736	2,672	2,502	2,165	2,260	3,175	2,225	2,657	2,526	2,601
ライ小麦	2,550	2,450	2,392	2,449	2,450	2,647	2,898	2,326	2,709	2,904	2,756

出典: CONAB 統計資料に基づき富士通総研にて作成

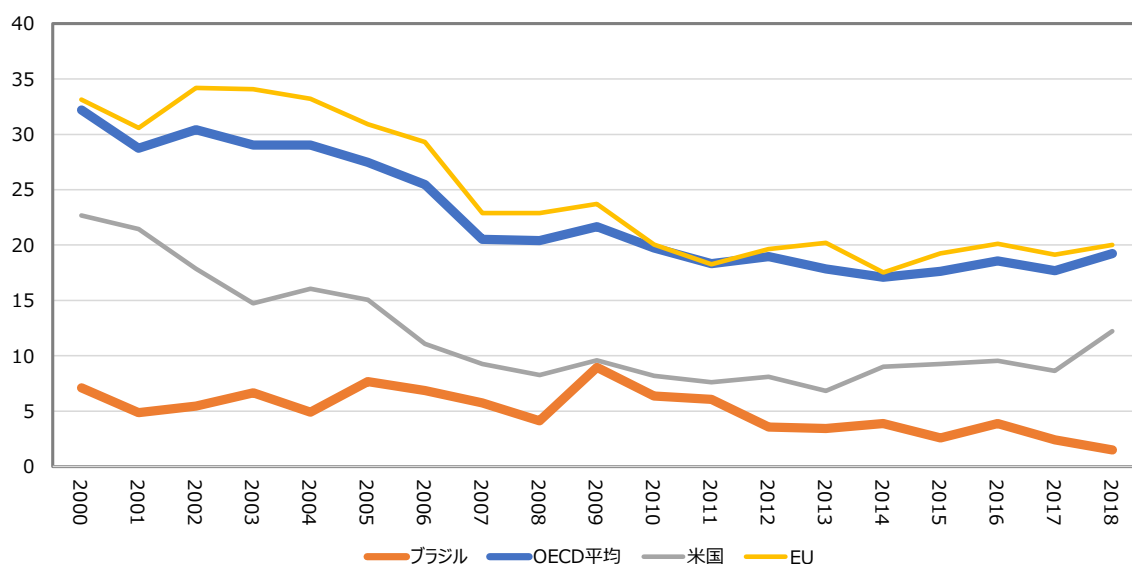
(2) 国内農業政策

① 政府による農業保護水準

ブラジルは 1990 年代に市場原理による自由主義経済政策へ転換したことから、国内農業政策も市場志向的である。農業保護の程度を比較するために採用している指標（Support to Producers : PSE）では、1.49%（2018 年）となっており、OECE 平均（19.2%）よりも低い水準となっている。なお、%PSE は欧州連合 20.3%、アメリカ（12.21%）、日本（46.74%）である。

農業政策の主な手段としては、(1)農業金融（Agricultural Credit）、(2)価格支持（Market Price Support）、(3)農業保険（Agricultural Insurance）が存在する。このうち、生産者への支援は主に農業金融を中心に実施されている。また、価格支持政策に関しては市場価格が最低保証価格を下回ることが稀でほとんど発動されることはない。

図表 129 PSE（2000~2018 年）（単位：％）



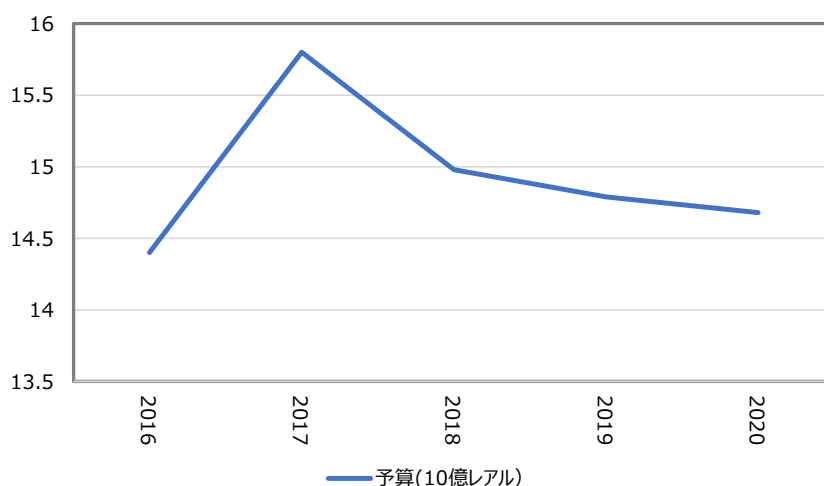
出典: OECD 統計に基づき富士通総研にて作成

② 国内農業政策の概要

ブラジルの国内農業政策の主な手段として農業融資と価格支持の 2 つがあげられる。これらの政策は 1960 年代から実施・改善が継続されており、2005 年からは生産者のリスクマネジメントへの支援として農業保険の支払い補助なども開始されている。ブラジルの農業政策は MAPA が所管しており、年次

農業畜産計画により具体的な施策が設定される。MAPA の5年間の予算をみると、144 億～158 レアルの間を推移している。最近の動きとしては、ボルソナロ政権による省庁統合の動きの1つとして、2019年初めに家族農業開発特別事務局（Secretaria Especial da Agricultura Familiar e do Desenvolvimento Agrário : SEAD）の機能が MAPA に統合された。SEAD は過去に小規模家族農家への支援を所管していた。

図表 130 MAPA の予算推移（単位：10 億レアル）



出典:MAPA 統計に基づき富士通総研にて作成

農業融資や価格支持などのプログラムに関する概要・予算などは、毎年7月に MAPA が年次の「農業計画（Plano Agrícola e Pecuário）」において示される。2020 年7月に MAPA が公開した最新の農業計画 2020/2021¹⁰⁴では、主に農業融資、農業保険、最低価格保証に係る年次実施計画などが示されている。

図表 131 農業計画 2020/2021 の主な項目

項目	主な内容
農業融資 (Crédito Rural)	➤ 投資融資、販売融資、金利、技術イノベーションに向けた融資など
販売支援 (Apoio à Comercialização)	➤ 最低保証価格プログラム (Política de Garantia de Preços Mínimos : PGPM)など
農業保険 (Programa de Seguro Rural)	➤ 小規模家族経営農家向け保険の PSR など

出典:MAPA 資料に基づき富士通総研にて作成

③ 価格支持政策

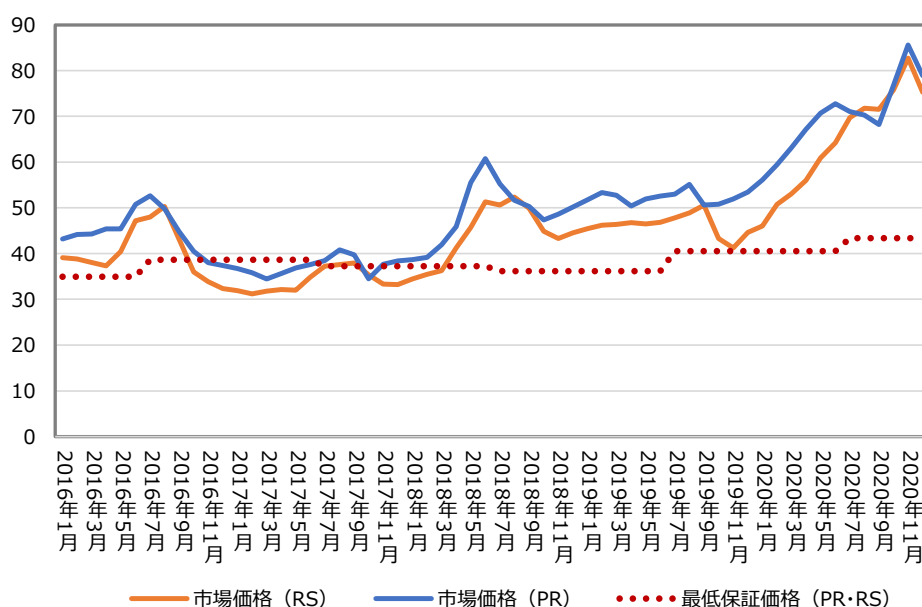
価格支持政策では、品目ごとに地域ごとの最低保証価格が設定されている。価格支持の対象は穀物な

ど幅広い農作物が対象とされており、乳や蜂蜜なども含まれている。このほか、政府による直接買い上げ、生産者に最低価格で購入したパイヤーへの補助金支給、低利子でのマーケティングローンなども存在している。これらのプログラムは MAPA 傘下の CONAB により実施されている。

小麦・大豆・とうもろこしの市場価格と最低保証価格の推移（2016～2020 年）をみると、大豆・とうもろこしは市場価格が最低保証価格の水準を下回ることにはなかった。一方、小麦は 2016～2018 年にかけて最低保証価格が市場価格を下回ることがあった。

まず、小麦に関してリオグランデ・ド・スル州（RS）やパラナ州（PR）の最低保証価格をみると、34.98～43.39 レアル（60KG）に設定されている。パラナ州では 2016 年 11 月～2017 年 6 月と 2017 年 10 月の 2 つの期間で最低保証価格よりも市場価格が下回った。また、リオグランデ・ド・スル州では、2016 年 10 月～2017 年 6 月、2017 年 10 月～2018 年 3 月の 2 つの期間において市場価格が最低保証価格を下回った。

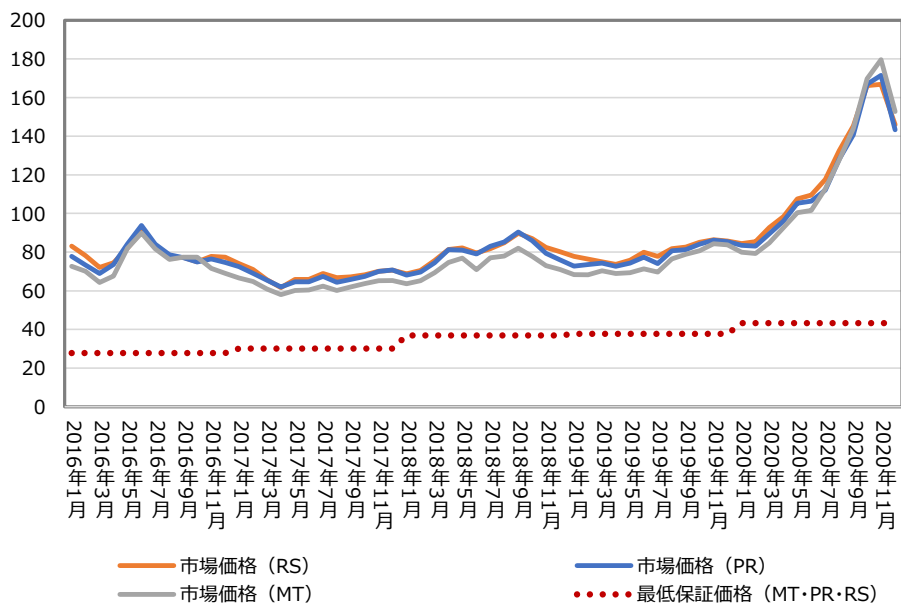
図表 132 市場価格と最低価格（小麦）（単位：レアル・60KG）（2016～2020 年）



RS はリオグランデ・ド・スル州、PR はパラナ州を示す
出典：CONAB 統計資料等に基づき富士通総研にて作成

大豆に関してマットグロッソ州（MT）、パラナ州（PR）、リオグランデ・ド・スル州（RS）の最低保証価格をみると、27.72～43.28 レアル（60KG）に設定されている。これらの州の市場価格は対象期間中では最低保証価格以上の水準を推移していることがわかる。

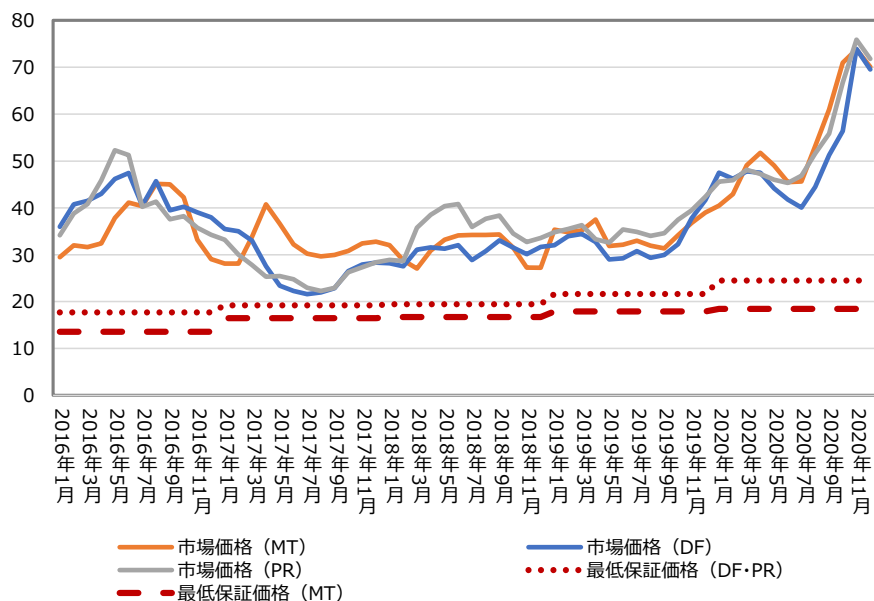
図表 133 市場価格と最低価格（大豆）（単位：リアル・60KG）（2016～2020 年）



MT はマツグロソ州、PR はパラナ州、RS はリオグランデ・ド・スル州を示す
出典: CONAB 統計資料等に基づき富士通総研にて作成

とうもろこしに関してマツグロソ州（MT）、連邦直轄区（DF）、パラナ州（PR）の最低保証価格をみると、マツグロソ州は 13.56～18.45 レアル（60KG）に設定されている。また、連邦直轄区とリオグランデ・ド・スル州の最低保証価格は 17.67～24.51 となっている。これらの州の市場価格は対象期間中では最低保証価格以上の水準を推移していることがわかる。

図表 134 市場価格と最低価格（とうもろこし）（単位：リアル・60KG）（2016～2020 年）



MT はマツグロソ州、DF は連邦直轄区、PR はパラナ州、RS はリオグランデ・ド・スル州を示す
出典: CONAB 統計資料等に基づき富士通総研にて作成

④ 農業融資

農業融資は大規模商業農家だけでなく小規模家族経営農家にとっても重要な政策となっている。生産者向けの融資は全国農業信用システム（National Rural Credit System : SNCR）の枠組みにて実施されている。同枠組みにより、大規模商業農家と比較して中小規模農家は優先金利にて融資を受けることが可能である。農業融資のプログラムの例としては小規模生産者向けの Pronaf や中規模生産者向けの Pronamp があげられる。年間の金利は Pronaf が 2.75%~4%、Pronamp が 5%となっている。

農業融資の融資目標額は MAPA が毎年策定するプラノ・サフラ（Plano Safra）ににおいて決定されている。2020 年 7 月に公開された最新の計画（Plano Safra 2020/2021）¹⁰⁴ではこれまでと同様に小規模・中規模生産者の支援に重点が置かれている。

また、ブラジル政府は自主的な取り組みとして気候変動国家計画を策定している。同計画では 2025 年までに CO2 排出量を 2005 年比 37%削減し、各種セクターからの CO2 排出量を約 10 億トン以下にすることを目指している。気候変動国家計画のうち、農業融資を活用した低炭素排出農業プログラム（Plano ABC : ABC 計画）が実施されている。ABC 計画では、生産者などによる環境保全の取り組みに融資が行われる。融資対象の環境保全の取り組みには、牧草地の回復、土壌改良や土壌保全の実施、有機農業の実施、法的保護区の回復、そのほか持続可能生産と CO2 の排出量の削減につながるものが含まれる。ABC 計画の実施を通じ合計 3,550 万ヘクタールの土地の保全・回復が行われる見込みである。

図表 135 ABC 計画における活動¹⁰⁵

実施事項	対象
劣化した牧草地の回復 (Recovery of degraded pasture land)	1500 万 ha
耕畜林連携システム (Integrated crop-livestock-forestry systems)	400 万 ha
被覆作物による不耕起栽培 (No-till farming with cover crops)	800 万 ha
生物窒素固定の利用 (Use of biological nitrogen fixation)	550 万 ha
植林 (Planted forests)	300 万 ha
家畜排泄物処理 (Treatment of Animal Waste)	440 万 m3

出典：EMBRAPA 資料に基づき富士通総研にて作成

⑤ 農業保険

農業保険に関しては主に保険料支払い額への補助金支給と自然災害による生産損失補填の 2 種類が存在している。これらは主に大規模商業農家を対象としており、農村保険金補助プログラム（Prêmio do Seguro Rural : PSR）などがあげられる。小規模家族経営農家向けには家族農業保険（Seguro da

¹⁰⁴ MAPA, “Plano Agrícola e Pecuário 2020/2021”, 2020

¹⁰⁵ EMBRAPA, 「ブラジルにおける気候変動ガバナンス」、2019 年

Agricultura Familiar : SEAF) や PROAGRO-Mais、Garantia Safra (GS) を提供している。

2020 年の農業保険の予算は昨年度に比べ 30%増加した 13 億レアルとなっており、2,100 万ヘクタールが対象となっている。ブラジルのうち、サンタカタリーナ州は COVID19 だけでなく過去 14 年間で最大の干ばつが発生しており、農業保険は同地域の生産者支援に効果的に機能している。

⑥ 環境保全に向けた取り組み (バイオ燃料政策) : RenovaBio¹⁰⁶

ブラジルは、2015 年の国連気候変動枠組み条約第 21 回締結国会議 (21th Conference of the Parties to the United Nations Convention on Climate Change: COP21) で締結されたパリ協定に基づき、2025 年までに温室効果ガスを 2005 年比で 37%削減することを目標としている。この目標を実現する手段として、ブラジルは RenovaBio を 2017 年に策定し 2019 年から実施をしている。

RenovaBio は排出権取引プログラムであり、消費燃料のうちエタノールを含むバイオ燃料の割合を 2014 年の 16.4%から 2030 年までに 18.3%まで増やすことで温室効果ガスの排出量を減少させることを目的としている。同プログラムでは、バイオ燃料の生産者が生産時の温室効果ガス排出削減量を鉱山・エネルギー省に申請し認証を得ることでカーボンクレジットとしての機能を有する CBios を取得することができる。CBios は燃料販売業者による購入が義務付けられており、購入量は化石燃料の販売量に応じて決定される。CBios はブラジル証券取引所で取引される金融・環境関連の商品でもあり、CBios 1 単位あたり CO2 換算で 1 トンの排出削減量に相当する。

2020 年は COVID19 感染拡大や一部の燃料販売会社が個別の削減目標に異議を唱え訴訟を起こすなどの混乱があったが、年間の温室効果ガス排出量削減目標の 97.6%が達成された。なお、Cbios の需要はブラジル政府による削減目標の引き上げに伴いさらに増加すると予想されている。また、炭素市場を含む国際的なメカニズムを設置するパリ協定第 6 条が実施されれば、ブラジルをはじめとする世界の炭素市場がさらに拡大すると見込まれている。

⑦ 環境保全に向けた取り組み(森林保全政策) : 大豆モラトリアム

大豆モラトリアムは、ブラジル植物油工業会 (ABIOVE)、ブラジル穀物輸出協会 (ANEC)、環境省、ブラジル銀行がタスクフォースを組織し 2006 年 7 月 24 日から実施されているアマゾン生体群系の保全に向けた取り組みである。大豆モラトリアムでは、2008 年 7 月 22 日以降にアマゾン地域の森林を切り開いた土地で生産された大豆の取引および貿易を禁止している。

ABIOVE は 2018 年に大豆モラトリアムの効果を整理している¹⁰⁷。同分析では、大豆モラトリアム実施前後のマットグロッソ州、パラ州、ロンドニア州など 9 地域の森林破壊面積を比較している。大豆モラトリアム実施前は、毎年 10,000 m²の面積の森林が破壊されていたが、2008 年以降は 10,000 m²を下回っていることを根拠に大豆モラトリアムの有効性に言及している。2020 年に米国で発表された大

¹⁰⁶ Lexology, "The Resurgence of Carbon Markets in Brazil: Championing Main Country Strengths - Biofuels and Forest Resources", 2021.2.6

¹⁰⁷ ABIOVE, AGROSATELITE, "Soy Moratorium Monitoring Soy Crops in the Amazon Biome using Satellite Map Images", 2018

豆モラトリウム効果を定量化した研究¹⁰⁸では、開始から10年間で450万エーカー以上の森林減少が回避されたと結論づけている。また、2006~2016年におけるアマゾンの大豆に適した地域での森林減少は、大豆モラトリウムが実施されない場合と比べて35%少ないと推定している。ただし、大豆モラトリウムはその取り組み単独ではなく、農村環境登録制度（Cadastro Ambiental Rural）などの政府による保全政策が前提となって機能を発揮するとの評価をしている。

一方、近年はセラードにおける大豆生産による環境破壊が問題として取り上げられており、大豆モラトリウムの対象をアマゾンだけでなくセラードにも拡大すべきとの声もあがっている¹⁰⁹。

⑧ 今後の方向性（戦略計画 2020~2027）¹¹⁰

MAPAはブラジル農業の中長期戦略である「戦略計画 2020~2027」を策定している。MAPAによる戦略計画は2006年と2016年にも策定されており、戦略計画 2020~2027はこれらの計画の継続としてボルソナロ政権下で策定されたものである。同計画では今後のブラジル農業の展望と課題、それをふまえた各種実施事項が分野別に整理されている。

戦略計画 2020~2027では、ブラジル農業の展望として豚肉、大豆、綿花、セルロース、とうもろこし、鶏肉、牛乳、砂糖の競争力が高まるとされている。また、果物ではマンゴー、ブドウ、リンゴも競争力を有する有望な生産物となると予想されている。こうした生産物は、国内市場と輸出市場両者の需要の高まりが成長要因となると分析されている。次に、穀物生産を中心としたブラジル農業の進歩に向けた課題として、インフラの整備、研究開発投資、生産者の資金調達規模拡大・継続があげられている。また、生産物や販売市場の多様化と生産物の高付加価値化も重要な課題として設定されている。

将来の展望と課題をふまえ、ブラジル国民の食料安全保障を確保し、所得と雇用を創出するとともに、社会的不平などを軽減することを目的として、MAPAとして具体的な戦略策定が必要であるとしている。今回策定された戦略計画 2020~2027の特徴としては、ボルソナロ政権成立後の組織再編を通じてMAPAの下一体化した農業政策を実施可能となった点が強調されている。

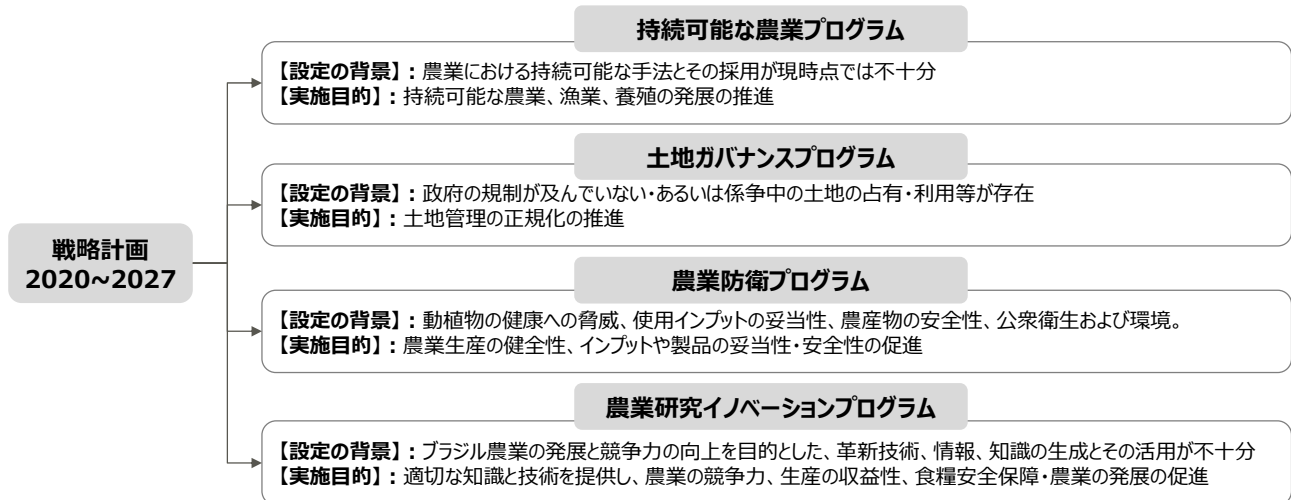
MAPAは戦略計画 2020~2027を達成するために4つのプログラムを設定している。4つのプログラムは、「持続可能な農業プログラム」、「土地ガバナンスプログラム」、「農業防衛プログラム」、「農業研究イノベーションプログラム」から構成されている。これらを実施することにより、農業の持続可能性の向上、土地のガバナンス強化、家畜の衛生向上、研究開発の促進を目指している。

¹⁰⁸ Robert Heilmayr, Lisa L. Rausch, Jacob Munger & Holly K. Gibbs, "Brazil's Amazon Soy Moratorium reduced deforestation", 2020.11.11

¹⁰⁹ Agencia, "Brazilian Soy Moratorium must be extended to Cerrado biome, researchers insist", 2019.8

¹¹⁰ MAPA, "PLANO ESTRATÉGICO, 2020 - 2027", 2020.5

図表 136 戦略計画 2020~2027 における 4 つのプログラム



出典：PLANO ESTRATÉGICO, 2020 – 2027 に基づき富士通総研にて整理

MAPA は 2027 年までの将来ビジョンを実現するため、24 項目の戦略を設定している。24 項目は(1)社会的目標、(2)生産者、(3)産業内部構造、(4)インフラと教育の 4 つに分類される。社会的目標は最も上位の階層に位置付けられ、持続可能性な開発や食の安心安全、農産物の競争力の向上があげられている。生産者分野では、農業生産の持続可能性を前提に、生産の拡大・多様化・高付加価値化、生産の用いる土地の正規化などが設定されている。産業内部構造分野では、生産技術などへの研究開発投資や法規制の改善、デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation : DX）などがあげられている。インフラ・教育分野では政府予算の増額や民間資金の活用、DX を含む情報技術の活用などが設定されている。

図表 137 戦略項目

分類	No	戦略項目
社会的目標	1	ブラジルの持続可能な開発の促進
	2	ブラジルの国民へ多様で安全な食品・高品質な生産物の提供
	3	国内外市場におけるブラジル農産物の競争力の向上
生産者	4	農業生産の持続可能性の向上
	5	土地の正規化の推進
	6	食品や農産物の品質の保証
	7	農業分野における革新的な知識と技術の提供
	8	農業生産チェーンの市場を維持・拡大・多様化
	9	生産の拡大・多様化と農産物の高付加価値化
	10	地方における生産者収入・雇用数の増加
産業 内部構造	11	農業・市場におけるインテリジェンスの向上
	12	農業生産チェーンへのイノベーション・応用研究の促進
	13	技術支援や農村改良、そのほか技術モデルの改善・強化
	14	食品やインプットの安全性と品質の確保
	15	付加価値向上・市場アクセス向上のための取り組み促進
	16	農村部における農業金融や保険のアクセスを拡大
	17	ブラジルの制度・農業のイメージの向上・付加価値を高め、市場へのアクセスを高めるための取り組み促進
	18	結果に重点を置いた制度改善
	19	法規制の改善・ビジネスプロセスの自動化（デジタルトランスフォーメーション）
	20	コーポレートガバナンスの向上
インフラ・ 教育	21	企業戦略などのスキルの保持・育成
	22	従業員重視、文化や組織風土の改善
	23	デジタル・トランスフォーメーションを推進する上で発生する新たな課題への既存の情報技術の活用・適応
	24	政府予算と外部資金調達の増加

出典：PLANO ESTRATÉGICO, 2020 – 2027 に基づき富士通総研にて整理

⑤ 関係者からの評価

米国の生産者などの関係者からは、ブラジルの特徴として土地の広さと低コストという点が共通してあげられた。課題の1つとしては内陸部から沿岸までの輸送インフラがあげられ、これが中長期的に解決すればブラジルの競争力はさらに向上するだろうとの声もあった。ヒアリングを行った対象のうち、ブラジルを競合相手として特にとらえている作物団体としてはとうもろこし、大豆、綿花があった。仮に米国が輸出に積極的でないとしたら、世界の市場はブラジルに目を向けるとの意見も聞かれた。このことから一部の作物団体はブラジルを強く意識していることがわかる。

また、ブラジルの今後の生産量向上と環境への配慮という観点では、二毛作の活用があげられた。さらなる二毛作の活用により、森林伐採を抑えながら生産量を維持・向上できるのではないかと指摘がある。このほか、環境面については、大豆などの耕作地は牧草地を転用しており、牧草地は森林伐採により開拓されていることから、牧草地の開拓をモラトリウムの対象にしても良いのではないかと意見があった。

図表 138 ヒアリング結果の要点（米国関係者）

主な評価・認識
➤ 生産者団体関係者 【一般農業団体関係者】 ● ブラジルのける農作物生産コストは非常に低い。問題は、それを輸出するためのコストが高い点にある。ブラジルの交通インフラはあまり良い状態ではない。ブラジルはこれまで内陸部まで鉄道を十分に敷いていなかった。そのため、彼らの生産物は港まで未整備の道路をトラックで1,000 マイル移動することさえある。 ● 米国に関しては、輸送手段だけを考えればブラジルよりも安く上海に大豆を届けることができる。ブラジルがさらに交通インフラや港などの整備を進めれば競争力が高まるだろう。 【品目別農業団体関係者（穀物分野）】 ● ブラジルはとうもろこしの輸出市場で世界の主要な競争相手である。今年は天候の影響で生産量が伸び悩んでいると思う。しかし、輸出は急速に伸びている。彼らは米国とは異なる種類のとうもろこしを輸出している。私たちは常にブラジルの生産を注視している。 ● 米国の輸送インフラとそこから生まれる効率性は、米国に競争力を与えるサプライチェーンの重要な要素である。南米のインフラ開発には常に目を光らせている。 【品目別農業団体関係者（穀物分野）】 ● ブラジルは米国の小麦生産者にとって、どちらかといえば競合相手だと思う。私たちが中国から貿易摩擦のあおりを受けて撤退したときのギャップは、確かに彼らが埋めてくれている。そのため、もし私たちが消極的な貿易相手国であり、輸出市場との取引を維持できなければ、人々はブラジルに目を向けるだろう。ブラジルには、レバレッジを効かせることができる相当な国土がある。しかし国内のインフラの観点からは、製品を市場に送り出すための設備が十分ではない。ただ、長期的に彼らにはチャンスがあるかもしれない。 【品目別農業団体関係者（穀物分野）】 ● ブラジルは大豆輸出の最大の競争相手である。彼らは国土を持っている。価格も安い。そして、中国との紛争で失った市場シェアの一部を奪っている。ブラジルは今後も米国産大豆の強力な競争相手であり続けるだろう。 ● そのため、バイデン政権には、東南アジア、特にベトナム、カンボジア、インドネシアなどの国々に、米国産大豆の市場をさらに開放するために、より積極的に働きかけてもらいたいと考えている。これらの市場はすでにかなり強い市場だが、成長の余地がある。 【品目別農業団体関係者（畜産分野）】 ● ブラジルのとうもろこしと大豆の価格は非常に好調だった。レアルが通貨安であることから、昨年はブラジルからの輸出が増加した。そのため、ブラジルのとうもろこしや豚の価格も上昇している。 【品目別農業団体関係者（畜産分野）】 ● 現時点でブラジルは乳製品の巨大な輸出国ではない。一方、アルゼンチンは乳製品分野でメルコスールや南米地域を支配している。ブラジルの乳製品事業の規模はわからないが、主にととうもろこしと牛肉に力を入れていると思う。乳製品もあるが、それほど脅威とは考えていない。アルゼンチンが競合するが、米国から中南米への輸出は今でもかなりの量が維持されている。 【品目別農業団体関係者（その他）】 ● ブラジルは米国産綿花の主な競合国の一つである。ブラジルでは多くの綿花を生産することができ、輸出市場では非常に競争力がある。ブラジルでは、肥料やその他の製品のコストを下げするために、政府補助金を投入されている。また、輸出をより競争力のあるものにするために、輸出補助金プログラムを実施していることもある。これらは生産者への直接の支援ではないが、農家の競争力を高めるのに役立っている。
➤ シンクタンク等 【現地米国農業有識者】 ● ブラジルの大豆生産者のほとんどは牧草地を耕作地に転換している。したがってあらたに森林を伐採しているわけではない。問題は、森林の一部を伐採して、数年間放牧して、その後に農

主な評価・認識

地に転換するという全体の流れの中で、牧草地をつくるための森林伐採をモラトリアムの対象にすべきか否かだと考えている。

- ブラジルには大量の二毛作の余地がある。大豆の後にとうもろこしを植えたり、大豆の後に綿花を植えたりしている。現在、単作のとうもろこしのために栽培されている土地を転用することができる。それにより森林伐採をせずに大豆やとうもろこしの生産量を維持・向上させることができるだろう。
- 牧草地が耕作地に転換されているため、牛の生産者は新しい牧草地を探している。ブラジルでは土地利用の問題は非常に複雑なのが課題である。

【現地欧州関係有識者】

- ブラジルが農業に大規模な投資をすることができるとは思っていない。彼らはまだ開発途上であると感じる。ブラジルの農業生産は低コストである。それは、彼らが大豆生産を拡大するために使える土地をたくさん持っているためであり、環境に影響を与える。熱帯雨林を牛肉から大豆に変えるだけでなく、草原も大豆に変えているが、これも多くの炭素を放出している。ブラジルの農業には環境面での課題がある。

4-3 穀物輸送インフラ

(1) インフラ投資体制と実施状況の概要

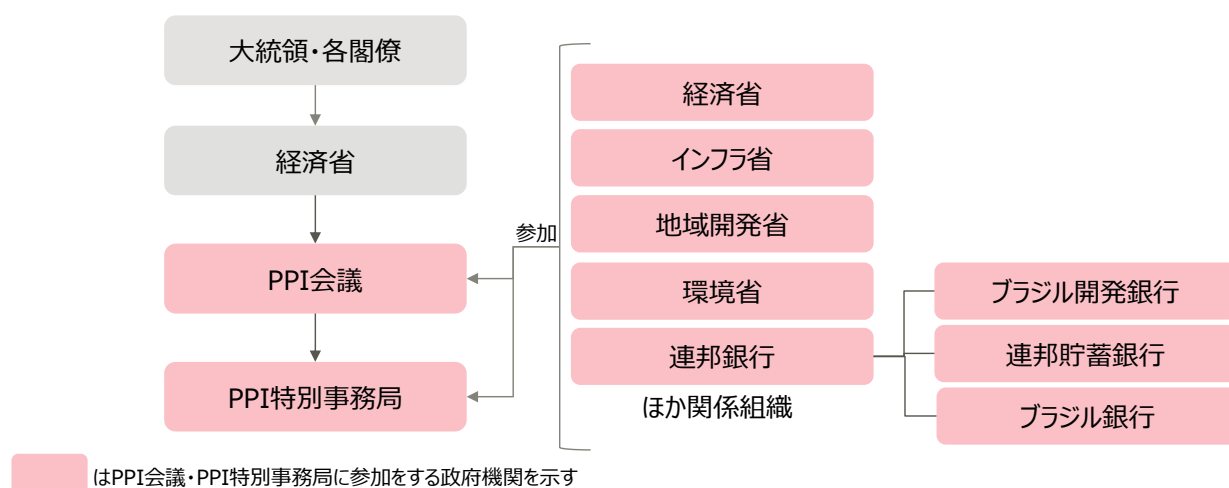
⑥ PPI プロジェクト

ブラジルでは生産された穀物の効率的な輸送が課題となっている¹¹¹。中西部マットグロッソ州など内陸地で生産された穀物類は、そのほとんどがトラック輸送に頼っていることでコストが増加している。

ブラジルでは 2003~2016 年の労働者党政権時代より政府主導のインフラ投資計画を実施してきている。2016 年にはテメル政権が成長戦略の一環として政府・民間の新たな関係構築と投資活性化を目指しコンセッション方式によるインフラ投資計画 (Investment Partnership Program: PPI) を発表した。

ボルソナロ政権における PPI は大統領と各閣僚が推進を主導しており、推進組織として PPI 会議・PPI 特別事務局が設置されている。PPI 会議の議長は経済省大臣とされ、経済省・インフラ省・地域開発省・環境省・連邦銀行など 11 の組織が参加をしている¹¹²。

図表 139 PPI 推進体制



出典:Ministerio Da Economia, "Brazilian Investments Partnerships Program – PPI", 2020.7 より富士通総研にて整理

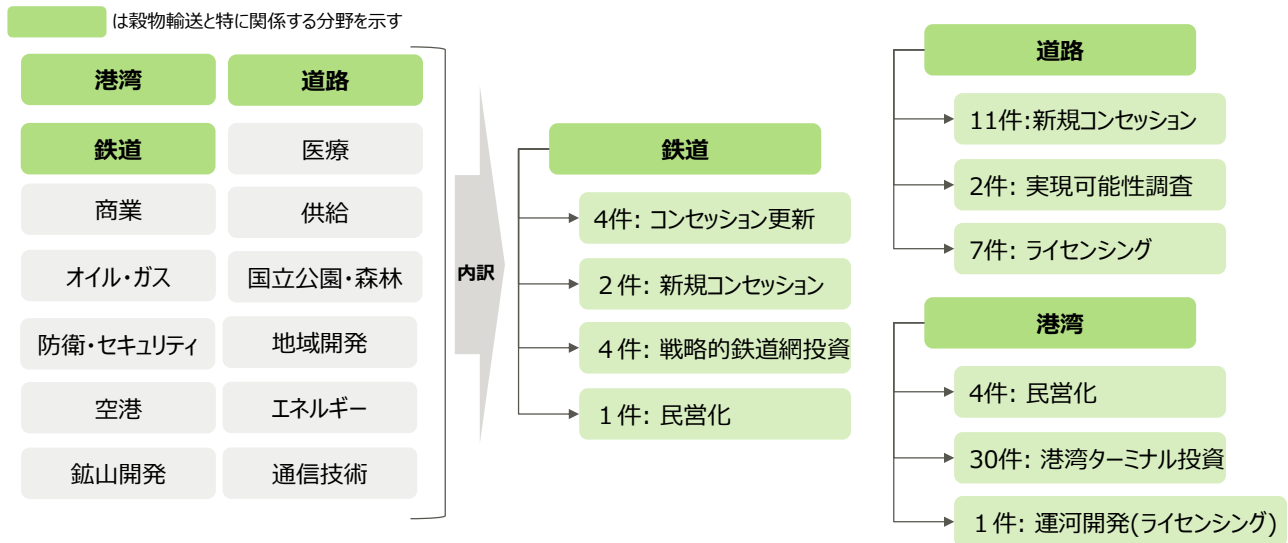
ブラジルでは 2020 年 2 月までに 336 の PPI プロジェクトが実施されてきた。PPI プロジェクトにはこれまで 1,629 億ドルが投資され、参画企業へのコンセッションフィーは 320 億ドルにのぼっている。

2020 年 7 月現在、ブラジルには 158 の PPI プロジェクトが存在している。PPI プロジェクトには港湾・鉄道・道路などの輸送インフラ分野や、エネルギー・鉱山・通信技術など全体で 15 分野が対象として設定されている。輸送インフラに関係する 3 分野では合計 66 件（港湾 35 件・鉄道 11 件・道路 20 件）のプロジェクトがあげられている。

¹¹¹ Ohio Ag Net, "Logistics drive up costs for Brazilian producers", 2019.11

¹¹² Ministerio Da Economia, "Brazilian Investments Partnerships Program – PPI", 2020.7,p6

図表 140 PPI のポートフォリオ（うち港湾・鉄道・道路）



出典:Ministerio Da Economia, "Brazilian Investments Partnerships Program – PPI", 2020.7 より富士通総研にて整理

PPI の流れは主に5段階（①プロジェクトの実現可能性調査、②パブリックコンサルテーション、③会計検査院による承認、④公告・入札、⑤落札者との契約に分類される。上記①～⑤の実施には約2年程度の時間を要するのが一般的である。

図表 141 PPI プロジェクト実施の流れ



出典:CRISIL, "Leading Practices in Governmental Processes Facilitating Infrastructure Project Preparation", 2019 より富士通総研にて整理

⑦ Pro-Brasil

2020年4月、ボルソナロ政権はCOVID19により打撃を受けた経済を回復させるために「Pro-Brasil」¹¹³を発表した。同プログラムは「インフラストラクチャ」、「生産性向上」、「人的資本」、「イノベーションとテクノロジー」、「制度整備」の5つの柱を設定している。具体的なプログラムとして、インフラ省

¹¹³ Politize, "Plano Pró-Brasil: entenda o que é", 2020.6

は 300 億レアルの投資を通じた鉄道・道路・港湾など 70 の公共事業の実施をあげている。また、コンセッションなどのプロジェクトに 2,500 億レアルの投資が行われることを見込んでいる。

図表 142 Pro-Brasil の対象

分野	インフラストラクチャ	生産性向上	人的資本	イノベーションテクノロジー	制度整備
主な対象	通信	アグリビジネス	医療	デジタルチェイン	金融
	エネルギー	サービス業	専門家育成	新産業・科学	税金
	鉱山	観光業	汚職対策		各種規制
	交通		インテリジェンス		
	物流		公共の安全		
	地域開発				

出典: Politize, "Plano Pró-Brasil: entenda o que é", 2020.6 より富士通総研にて整理

Pro-Brasil の実施は 2 段階に分けられており、第 1 段階では 274 億レアルが支出され、すでに存在するインフラ関係などのプロジェクトの実施が加速化されることが期待されている。Pro-Brasil の第 2 段階では 1,570 億レアルが支出され、9,400 のインフラプロジェクトが実施される見込みである。

2020 年 9 月、インフラ省は 300 億レアルの投資に関して資金不足が原因で政府支出の減額の可能性を示唆しており、2020 年 4 月当初の計画とおり Pro-Brasil が進むかは不透明となっている¹¹⁴。

(2) 穀物輸送に関係する主なプロジェクト

① 鉄道分野

鉄道分野の PPI プロジェクトの総額は 135 億ドルが見込まれている。新規コンセッションが 57 億ドル・コンセッション更新が 78 億ドルの構成となっている。すべての PPI プロジェクトの総距離は延べ 12,789km となっている。

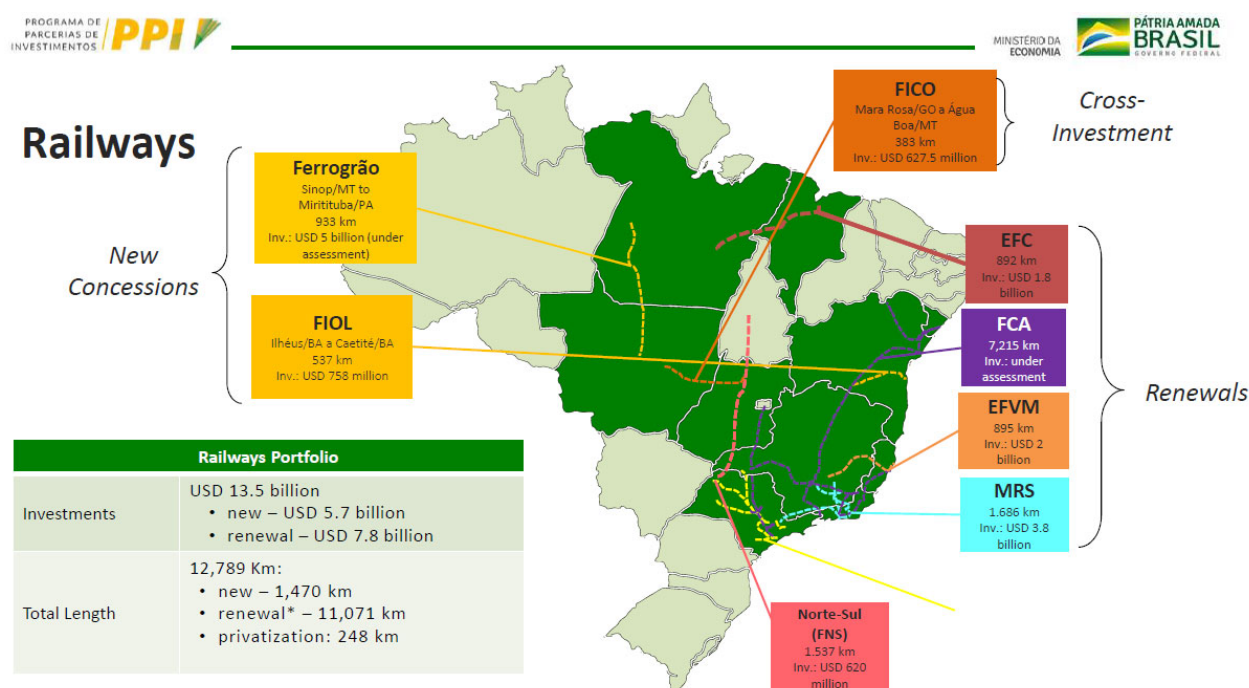
鉄道分野における新規コンセッションプロジェクトとしてはフェログラン(Ferrogrão)鉄道とフィオル(FIOL)鉄道の 2 件が実施予定となっている。フェログラン鉄道は穀物輸送を主な目的としており、総距離 933km・投資金額は 50 億ドル、フィオル鉄道は総距離 537km、投資総額は 7.6 億ドルとなるとされている。コンセッション更新対象の主なプロジェクトは、EFC・FCA・EFVM・MRS の 4 件が存在する。

¹¹⁴ CNN, "Pró-Brasil prevê R\$ 1,8 bilhão do governo em ferrovias até 2022", 2020.9

図表 143 鉄道分野の PPI プロジェクトの全体概要

項目	概要
投資額	【総額】 ● 135 億ドル (1 兆 4,850 億円) 【内訳】 ➤ 新規コンセッション：57 億ドル ➤ コンセッション更新：78 億ドル
距離	【総距離】 ● 12,789km 【内訳】 ➤ 新規コンセッション 1,470km ➤ コンセッション更新 11,071km ➤ 民営化 248km

図表 144 PPI のポートフォリオ (鉄道分野の主なプロジェクト)



出典:Ministerio Da Economia, "Brazilian Investments Partnerships Program – PPI", 2020.7, p.17

フェログラン鉄道は、マットグロッソ州からパラー州にまたがる総延長 933km の新規 PPI プロジェクトである。フェログラン鉄道の敷設により、北部地域経由による穀物輸出が円滑に行われるようになる。また、パラー州のミリティドゥバ港への接続により、中西部の農作物の物流が改善されることが期待されている。輸送が想定されている生産物はマットグロッソ州で生産されたとうもろこし・大豆・大豆粕や、肥料・砂糖・エタノールなどがあげられている。

2021 年 2 月現在、フェログラン鉄道プロジェクトは TCU 段階にあり、入札時期は 2021 年第 2 四半期中とされている。開業時期は 2030 年とされ、初年度には約 2,500 万トンの輸送需要が見込まれ、その後、2050 年には 4,230 万トンに達すると予測されている。

フェログラン鉄道のコンセッション入札に関する説明会がこれまで開催されており、イタリア・中

国・スペイン・ブラジル・日本などから 22 社以上が参加をしている¹¹⁵。

図表 145 フェログラン鉄道プロジェクトの概要¹¹⁶

項目	概要
距離	933 キロ
目的等	● 北部地域経由による穀物輸出 ● パラー州のミリティトゥバ港への接続により、中西部の農作物の流通を改善
入札時期等	● 2017 年 5 月：実現可能性調査実施 ● 2020 年 5 月：パブリックコンサルテーション実施 ● 2021 年 2Q 入札予定(TCU 段階(2021 年 2 月時点))
開業想定時期	2030 年
備考等	● 輸送量（開業初年度想定）：2,500 万トン ● 輸送量（2050 年時点想定）：4,230 万トン ● コンセッション契約期間は 65 年間
コンセッション入札説明会等への参加企業の例	● イタリア：Salini Impregilo ● 中国：中国鉄道建設公社（CRCC） ● スペイン：Sacyr、Acciona など ● ブラジル：VLI、Ecródovias、Hidrovias do Brasil など ● 日本：住友商事

図表 146 フェログラン鉄道の対象地域



フィオル鉄道は、バイーア州における総延長 537km の新規 PPI プロジェクトである。フィオル鉄道の敷設により、バイーア州西部で生産された穀物などを港湾まで輸送することが円滑化される。また、将来バイーア州沿岸部イルヘウスに建設予定の港湾を経由した輸出も期待されている。このほか、さらなる輸送力向上のために南北鉄道（FNS）との接続も見込まれている。輸送が想定されている生産物は農業用バルク・液体バルク・鉄鉱石・一般貨物などがあげられている。

フィオル鉄道のコンセッション入札は 2021 年第 1 四半期に計画されている。投資想定額は 7 億 5,800

¹¹⁵ Bnamericas, “Who’s interested in Brazil’s US\$1.55bn Ferrogrão railway?”, 2020.9, <https://www.bnamericas.com/en/analysis/whos-interested-in-brazils-us155bn-ferrograo-railway>, 2021 年 2 月 19 日アクセス

¹¹⁶ Ministerio Da Economia, “Federal Railway Concession Program”, 2020.5

万ドルが見込まれている。入札に関心を示している企業¹¹⁷としては、ブラジルの資源関係企業である Bahia Mineração があげられている。入札は同社の一社応札となる見込みであるが、ブラジル開発銀行 BNDES のコンソーシアムである VLI や日本の三井物産も関心を示しているとも報じられている。

図表 147 フィオル鉄道プロジェクトの概要

項目	概要
距離	537km
目的等	● バイーア州西部にて生産された穀物などをイルヘウスに建設予定の港湾施設を経由し輸出 ● 将来的には、同港湾施設と南北鉄道（FNS）との接続も可能になる予定
入札時期	● 2018 年 8 月：実現可能性調査実施 ● 2019 年 11 月：パブリックコンサルテーション実施 ● 2020 年 11 月：TCU 評価・承認 ● 2020 年 12 月：入札公示 ● 2021 年 1Q 入札予定
備考等	● 投資想定額：7 億 5,800 万ドル ● 輸送量（2024 年想定）：1,700 万トン ● 輸送量（2054 年想定）：3,440 万トン ● コンセッション契約期間は 30 年間
コンセッション入札説明会等への参加企業の例	ブラジル：Bahia Mineração

図表 148 フィオル鉄道の対象地域



② 道路分野

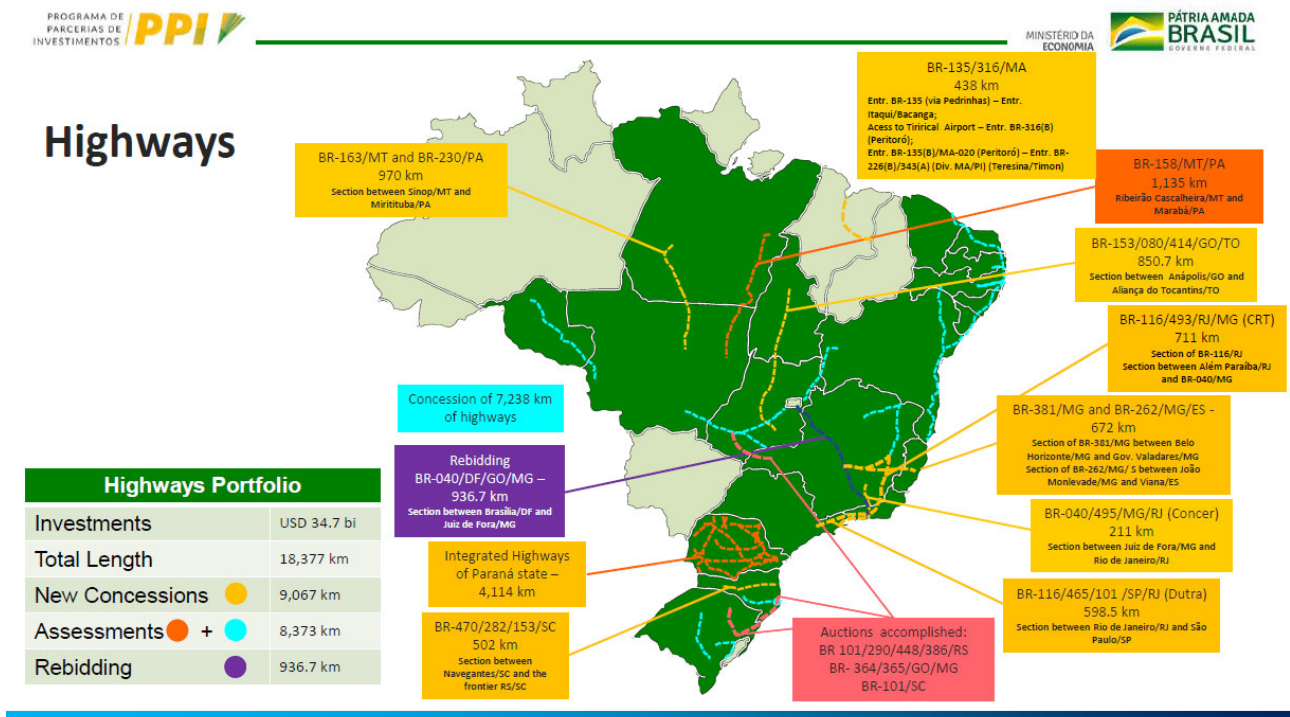
道路分野の PPI プロジェクトの総額は 347 億ドルが見込まれている。対象となる道路は総距離 18,377km で、このうち新規コンセッションの対象が 9,067km である。経済省が 2020 年 7 月に公開した PPI に関する資料では、道路分野の主な PPI プロジェクトとして次の 7 つがあげられている。このうち、2020 年に入札が予定されている案件は 2 件、2021 年は 5 件となっている。

¹¹⁷ Railway Gazette, “Brazilian rail tender draws bidders’ interest”, 2021.1, <https://www.railwaygazette.com/freight/brazilian-rail-tender-draws-bidders-interest/58258.article?adredir=1>, 2021 年 2 月 19 日アクセス

図表 149 道路分野の PPI プロジェクトの全体概要

項目	概要
投資総額	347 億ドル
総距離	18,377km
新規コンセッション	9,067km
アセスメント対象	8,373km
再入札	936.7km

図表 150 道路分野の主な PPI プロジェクト



出典:Ministerio Da Economia, "Brazilian Investments Partnerships Program – PPI", 2020.7, p.19

図表 151 道路分野の主な PPI プロジェクトと入札時期等

名称(対象地域)	距離(km)	入札時期	Capex(米ドル)
BR-153/080/414 (ゴイアス州～トカンティンス州)	850	2020 年 Q4	19.5 億
BR-163/MT and BR-230/PA (マットグロッソ州～パラウ州)	970	2020 年 Q4	4.36 億
BR-381/MG and BR-262/MG/ES (ミナスジェライス州～エスピリトサント州)	672	2021 年 Q1	22.5 億
BR-116/465/101 /SP/RJ (Dutra) (リオデジャネイロ州～サンパウロ州)	598.5	2021 年 Q1	39 億

名称(対象地域)	距離(km)	入札時期	Capex(米ドル)
BR-470/282/153/SC (サンタカタリーナ州)	502	2021 年 Q2	18.3 億
RODOVIAS INTEGRADAS DO PARANÁ (BR-153/158/163/272/277/369/373/376/476 等)	4,114	2021 年 Q3	77.2 億
BR-116/493/RJ/MG (CRT) (リオデジャネイロ州～ミナスジェライス州)	711	2021 年 Q3	18.1 億

2021 年に入札が計画されている PPI プロジェクトのうち、セラードが広く分布し農業生産の中心地であるマットグロッソ州からパラ州へ接続する BR-163/BR230 の整備計画があげられる。

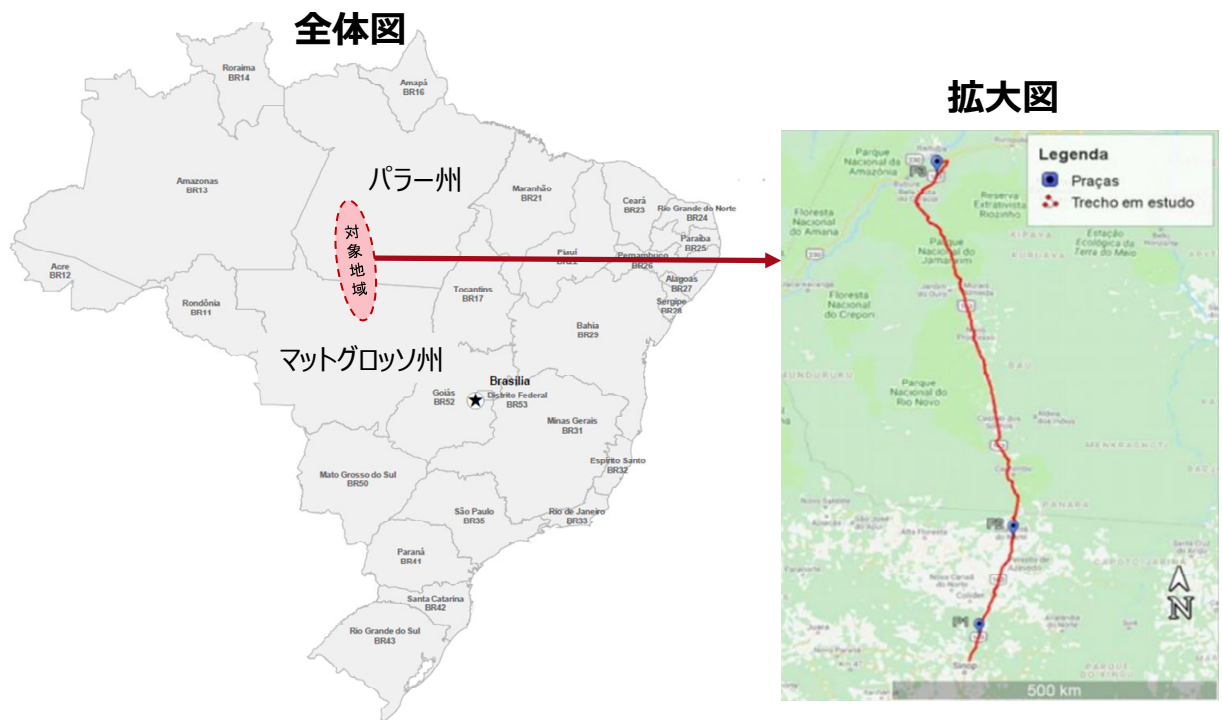
BR-163/BR230 の整備を通じて、輸送環境が改善されるためマットグロッソ州における穀物の生産環境をさらに高めることが可能となる。一方、フェログラン鉄道が開通した場合、現在道路で輸送されている物流需要が鉄道に吸収されることが見込まれる。そのため、BR-163/BR230 の整備は費用を最小化することが想定されている。

BR-163/BR230 のコンセッション入札は、2019 年に実現可能性調査、2020 年にパブリックコンサルテーション・TCU 評価・承認が完了し、2021 年第 2 四半期を目途に実施される見込みとなっている。

図表 152 BR-163・BR-230 プロジェクトの概要

項目	要点
距離	970km
目的等	道路のリハビリテーション、維持管理、モニタリング、改善、一定の性能基準とサービスレベル等の達成
期間	コンセッション 10 年間
入札時期	● 2019 年 8 月：実現可能性調査実施 ● 2020 年 5 月：パブリックコンサルテーション実施 ● 2020 年 12 月：TCU 評価・承認 ● 2021 年 1Q：入札公示 ● 2021 年 2Q：入札予定 ※2020 年 7 月時点の資料では 2020 年 Q4 を入札時期としていたが、2020 年 11 月時点の情報では 2021 年 Q1 に入札時期が変更

図表 153 BR-163/MT・BR-230/PA の対象地域



4-4 貿易政策

(1) メルコスール

① 概要

ブラジルは南米における関税同盟のメルコスール加盟国である。メルコスールは、アルゼンチン・ブラジル・パラグアイ・ウルグアイの4か国が署名した 1991 年のアスンシオン条約によって成立した。メルコスールは 1994 年に対外共通関税（Common External Tariff: CET）の設定に合意をしており、総数約 11,200 品目が CET の対象となっている。CET は 0~20%の範囲で設定されており、全品目の平均は 15%である。設立当初、メルコスールは 2015 年末までにすべての例外品目を撤廃することを目指していたが、各加盟国は例外品目撤廃の期限を延長している。延長期限は、アルゼンチン・ブラジルが 2021 年、ウルグアイは 2022 年、パラグアイは 2023 年となっている。

図表 154 メルコスール加盟国の概要

項目	ブラジル	アルゼンチン	パラグアイ	ウルグアイ
主要産業	製造業、鉱業（鉄鉱石他）、農牧業（砂糖、オレンジ、コーヒー、大豆他）	農牧業（油糧種子、穀物、牛肉）工業（食品加工、自動車）	農牧業（大豆）、牧畜業（食肉）、林業	農牧業、製造業（特に商品加工）、サービス業
人口	約2億947万人（2018年）	4,494万人（2019年）	約704万人（2019年）	346万人（2019年）
経済成長率	1.1%（2019年）	-2.2%（2019年）	-0.03%（2019年）	0.2%（2019年）
GDP総額	1兆8,850億米ドル（2018年）	4,497億ドル（2019年）	381億ドル（2019年）	560.5億米ドル（2019年）
一人当たりGDP	9,080米ドル（2018年）	10,006ドル（2019年）	5,510ドル（2019年）	16,190米ドル（2019年）
主要貿易品目	〔輸出〕一次産品 49.7%（大豆、鉄鉱石、原油等）、工業製品 36.1%（乗用車、航空機、商用車等）、半製品 12.7%（粗糖、木材パルプ、鉄鋼半製品等）（2018年）	〔輸出〕農畜産物加工品（大豆油かす、大豆油、ワイン等）、牛肉、穀物（とうもろこし、小麦、大豆等）、自動車及び同部品、貴金属（金等）、燃料（原油等）、水産物（2019年）	〔輸出〕電力、大豆、牛肉、小麦等、穀類（2019年）	〔輸出〕牛肉、セルロース、大豆、乳製品（2020年）
	〔輸入〕原材料及び中間材 57.9%（工業原材料、資本財付属品、輸送用機器付属品等）、消費財 14.1%（医薬品、食料品、家庭用機械器具等）、石油及び燃料 12.2%、資本財 15.8%（工業用機械、輸送機器等）（2018年）	〔輸入〕自動車及び同部品、燃料（ガス、軽油等）、大豆、医療用品、電子機器・機械類及び同部品、農業資材（除草剤、肥料等）（2019年）	〔輸入〕機械、その他消費財、燃料、機械部品、自動車（2019年）	〔輸入〕自動車、衣料品・靴、プラスチック、電話（2020年）
主要貿易相手国・地域	〔輸出〕中国（26.8%）、米国（12.0%）、アルゼンチン（6.2%）、オランダ（5.4%）、チリ（2.7%）、ドイツ（2.2%）スペイン（2.1%）、メキシコ（1.9%）、日本（1.8%）（2018年）	〔輸出〕ブラジル、EU、中国、米国、チリ（2019年）	〔輸出〕ブラジル、アルゼンチン、チリ、ロシア、インド、米国（2019年）	〔輸出〕中国、EU、ブラジル（2020年）
	〔輸入〕中国（26.8%）、米国（12.0%）、アルゼンチン（6.1%）、ドイツ（5.8%）、韓国（3.0%）、メキシコ（2.7%）、イタリア（2.5%）、日本（2.4%）、フランス（2.2%）（2018年）	〔輸入〕ブラジル、中国、EU、米国、ドイツ（2019年）	〔輸入〕中国、ブラジル、アルゼンチン、米国、シンガポール、日本（2019年）	〔輸入〕ブラジル、中国、アルゼンチン（2020年）

出典：外務省

図表 155 例外品目の上限と撤廃の履行期限¹¹⁸

国名	例外品目の上限	撤廃の履行期限
アルゼンチン	100 品目	2021 年 12 月 31 日
ブラジル	100 品目	2021 年 12 月 31 日
パラグアイ	649 品目	2023 年 12 月 31 日
ウルグアイ	225 品目	2022 年 12 月 31 日

現在、メルコスールはイスラエルやエジプトなど 6 か国と自由貿易協定を締結している。また、モロッコとメキシコの 2 か国と枠組協定を締結している。特惠貿易協定に関しては南アフリカ関税同盟 (South African Customs Union : SACU)、インド、メキシコなど 6 か国・地域と締結をしている。

図表 156 メルコスールとの自由貿易協定締結国

分類	締結国	署名年	発効年
自由貿易協定 (Free Trade Agreement)	MERCOSUR -Colombia AAP.CE N° 72	2017	2017
	MERCOSUR – Egypt	2010	2017
	MERCOSUR – Israel	2007	2010
	MERCOSUR - Peru (ACE 58)	2005	2006
	MERCOSUR -Bolivia (ACE 36)	1996	1997
	MERCOSUR -Chile (ACE 35)	1996	1996
枠組み協定 (Framework Agreement)	MERCOSUR – Morocco	2004	2010
	MERCOSUR - Mexico (ACE N° 54) - framework agreement	2002	2006
特惠貿易協定 (Preferential Trade Agreements)	MERCOSUR - Southern African Customs Union (SACU)	2008	2016
	MERCOSUR - Colombia - Ecuador - Venezuela (AAP. CE No 59)	2004	2005
	MERCOSUR – India	2004	2009
	MERCOSUR - Mexico (ACE N° 55) - auto sector agreement	2002	2002

出典:SICE 資料より富士通総研で整理

このほか、メルコスールにはボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、ガイアナ、ペルー、スリナムの 7 か国が準加盟国となっている。これらの国はメルコスール加盟国との貿易で関税引き下げを受けることができるが、メルコスールにおける議決権や加盟国と同等の市場アクセスを得ることはできない。

② 主な貿易交渉

メルコスールによる貿易交渉のうち、EU との自由貿易協定¹¹⁹が主な取り組みとしてあげられる。メルコスールと EU の自由貿易協定締結に向けた交渉は 2000 年に開始された。その後、一時的な協議の中断を経て、2010 年に交渉が再開された。2016 年にはメルコスールと EU がそれぞれ関税削減に向けた取り組みで合意に至ったことで交渉が加速した。それから約 3 年後の 2019 年、メルコスールと EU は包括的な貿易協定締結に向けた政治的合意に達した。メルコスール・EU の自由貿易協定が締結され

¹¹⁸ SICE, “MERCOSUR/CMC/DEC. NO 26/15.” 2015.7

¹¹⁹ European Commission, “Mercosur”, <https://ec.europa.eu/trade/policy/countries-and-regions/regions/mercotur/>, 2021 年 2 月 19 日アクセス

る場合、締結後 10 年間でメルコスールの対 EU 輸出への関税の約 90%が撤廃される。また、政府調達への参加がメルコスール・EU の企業に開放されることになる。農業分野では、EU 側はメルコスールからの輸入品について、タリフラインベースで 95%を最長 10 年かけて無関税化する。牛肉、砂糖、エタノールといったセンシティブ品目は、TRQ が適用される。また、メルコスール側はスパークリングワイン、バルクワイン、蒸留酒、オリーブオイル、リンゴ、洋ナシ、ネクタリン、プラム、キウイ、麦芽、冷凍じゃがいも、豚肉などに関して関税を撤廃する¹²⁰。

今後、メルコスールと EU の自由貿易協定の締結のためにはすべてのメルコスール加盟国と EU 加盟国の批准が必要になる。批准に向けた課題¹²¹としては、メルコスール側からは製造業、特に自動車会社から懸念の声があがっている。また、EU 側では農業分野からメルコスール加盟国からの安価な農作物の輸入の増加に関する懸念が示されている。特にベルギー・フランス・アイルランド・ポーランドは、政治的に影響力のある牛肉生産者を抱えている。

このほか、メルコスールはカナダ・シンガポール・韓国・レバノンと自由貿易協定交渉を継続している。カナダとは 2019 年内、韓国とは 2020 年内の妥結を目指していたが、2021 年 2 月時点では政治合意には至っていない。

③ メルコスールの課題¹²¹

メルコスールの設立により域内貿易額は 1990 年の 40 億ドルから 2000 年には 400 億ドルと 10 倍に増加した。一方、1999 年のブラジルの通貨切り下げや 2001 年のアルゼンチンの金融危機をうけ、地域統合の動きが鈍化した。それ以来、ブラジルとアルゼンチン間で貿易紛争などの緊張関係が発生してきた。2011 年にはアルゼンチンが約 100 品目のブラジル産製品の自動輸入ライセンスを取り消したことで、港での物流停滞が発生した。これにより、翌年にはブラジルからアルゼンチンへの輸出が 15%減少した。

また、メルコスール加盟国は第三国への貿易政策の調整においても課題に直面した。例えば、ブラジルは 2011 年に中国からの鉄鋼輸入に対してアンチダンピング措置を課した。そのため、政治的交渉を通じたメルコスールのルールから逸脱した例外が常態化したとの評価もあがっている。対外関税が適用されない例外品目はブラジルだけでも 100 件存在するが、4 つの加盟国がこうした例外の撤廃を求めることがほとんどなかった。

近年はブラジルのボルソナロ大統領がメルコスールをブラジルの優先課題ではないとし、より広域の国々との自由貿易の推進を掲げている¹²²。このほか、2020 年 4 月 24 日にアルゼンチンは COVID19 により悪化した国内経済政策に焦点を当てるため、メルコスールが推進している新たな貿易交渉から撤退することを宣言した¹²³。アルゼンチンは以前から韓国、シンガポール、レバノン、カナダ、インドなど

¹²⁰ European Commission, “New EU-Mercosur trade agreement The agreement in principle”, 2019.7

¹²¹ Council on Foreign Relations, “Mercosur: South America’s Fractious Trade Bloc”, 2020.7

¹²² The Bubble, “Brazil’s Future Economic Minister Says Mercosur ‘Will not be a Priority’”, 2018.10

¹²³ Reuters, “Argentina to exit Mercosur trade talks to focus on problems at home”, 2020.4.26

との新しい自由貿易協定を早急に進めることへの懸念をメルコスールに伝えていた。これにより、コンセンサス方式を採用するメルコスールの今後の貿易交渉への影響が想定されたが、同発表から5日後にアルゼンチンは同宣言を撤回し、引き続き新たな貿易交渉にも取り組む姿勢を示した¹²⁴。その後、ボルソナロ大統領とアルゼンチンのフェルナンデス大統領は相互協力を通じた地域的統合を促進する意向をみせている。こうした連携には COVID19 による経済的不況をさらに悪化させたくないという思惑が両国間にあるとの指摘もあった¹²⁵。

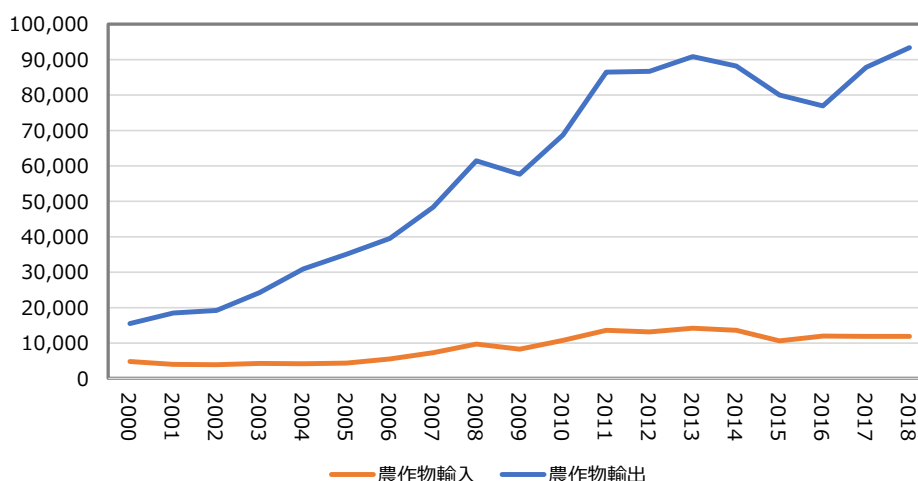
以上を考慮すると、ブラジルとアルゼンチンの足並みが揃わない可能性も残るものの、引き続きメルコスールは新たな貿易交渉の推進を行うと考えられる。また、ブラジルがメルコスールとは別個に独自の貿易交渉を行う姿勢を示していることから、独自のアジェンダを設定した二国間交渉の進展が進んでいくことが想定される。

(2) ブラジルの貿易政策

① 概要

ブラジルの農作物輸入量は 2010 年に 100 億ドルを超えるものの、その後はほぼ横ばいである。一方、農作物輸出量は 2000 年時点の 200 億ドルを下回る水準から増加を続け、2018 年時点では 900 億ドルを超えている。農作物輸出先としては中国が最も多く、次いで EU、米国、アルゼンチン、日本などが続いている。農作物輸入先としては EU が最も多く、次いで中国、米国、アルゼンチン、韓国などとなっている。輸出品目としては大豆、サトウキビ、家禽、とうもろこしなどが上位を占めている。輸入品目としては小麦、アルコール、麦芽などが上位である。

図表 157 農作物貿易額の推移（2000～2018）（単位：100 万ドル）

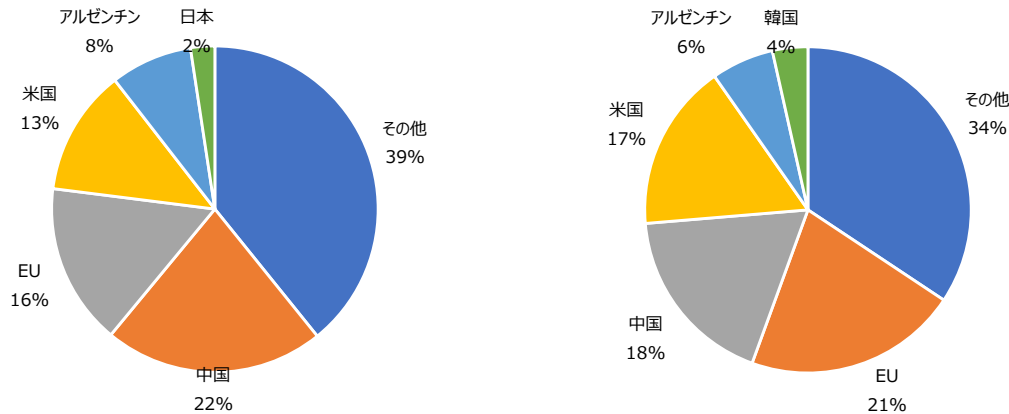


出典：WTO 統計より富士通総研にて作成

¹²⁴ Solá en el Senado: “Queremos preservar el Mercosur como espacio de integración” Ministro de Relaciones Exteriores, Comercio Internacional y Culto Argentina, 2020.4.29

¹²⁵ Global Americans, “The relationship between the MERCOSUR agreement with the European Union and South American regionalism”, 2021.1.21

図表 158 ブラジルの輸出先（左）・輸入先（右）、2017 年



出典:WTO 統計より富士通総研にて作成

図表 159 ブラジルの輸出・輸入額上位品目（単位：100 万ドル）、2017 年

輸出		輸入	
作物名	金額	作物名	金額
大豆 (Soya beans, whether or not broken)	25,718	小麦・メスリン (Wheat and meslin)	1,149
サトウキビまたはテンサイ糖 (Cane or beet sugar)	11,412	80%以上のアルコール (Alcohol of 80% or more volume)	898
家禽および食用内臓 (Meat and edible offal of poultry)	6,578	麦芽 (Malt, whether or not roasted)	414
大豆油からの固形残留物 (Solid residues from soya-bean oil)	4,973	ワイン (Wine)	370
とうもろこし (Maize)	4,631	その他の野菜、冷凍製品 (Other vegetables,frozen)	340

出典:WTO 統計より富士通総研にて作成

② 現状・方向性

ブラジルはメルコスールを通じて6つの自由貿易協定に参加をしている。ブラジル単独では、メルコスール発足後はスリナム、メキシコ、ガイアナと特惠貿易協定を締結している。

図表 160 ブラジルとの貿易協定締結国（発効済）※青はメルコスール・緑はブラジル単独

分類	相手国	署名年	発効年
自由貿易協定 (Free Trade Agreement)	MERCOSUR -Colombia AAP.CE N° 72	2017	2017
	MERCOSUR – Egypt	2010	2017
	MERCOSUR – Israel	2007	2010
	MERCOSUR - Peru (ACE 58)	2005	2006
	MERCOSUR -Bolivia (ACE 36)	1996	1997
	MERCOSUR -Chile (ACE 35)	1996	1996
枠組み協定 (Framework Agreement)	MERCOSUR – Morocco	2004	2010
	MERCOSUR - Mexico (ACE N° 54)	2002	2006

分類	相手国	署名年	発効年
特恵貿易協定 (Preferential Trade Agreements)	MERCOSUR - Southern African Customs Union (SACU)	2008	2016
	Suriname (AAP.A25TM N° 41)	2005	2006
	MERCOSUR - Colombia - Ecuador - Venezuela (AAP. CE No 59)	2004	2005
	MERCOSUR - India	2004	2009
	MERCOSUR - Mexico (ACE N° 55)	2002	2002
	Mexico (AAP.CE N° 53)	2002	2003
	Guyana (AAP.A25TM N°38)	2001	2004
	Argentina (ACE N° 14)	1990	1990
	Uruguay (AAP.CE N° 2)	1986	1986

出典:SICE より富士通総研にて作成

最近のブラジル単独の動きとしては、米国との貿易交渉があげられる。2019年7月31日、ブラジルのパウロ・ゲデス経済相はブラジルを訪問中のウィルバー・ロス米国商務長官と会談し、米国との通商協定に向けた協議を開始することで合意した。本貿易協定は関税の自由化を目指す自由貿易協定ではなく、貿易手続きの円滑化や規制の透明性向上を目的とした非関税分野における協定が想定され交渉が進められた。関税同盟であるメルコスールでは、関税率の設定に関する事項はメルコスール一体として行うべきことが規定されており、1国単独で関税率に関する交渉を行うことができないためである。

2020年10月19日、ブラジルと米国は貿易・経済協力協定（Agreement on Trade and Economic Cooperation : ATEC）に署名した。ATECは2国間の貿易円滑化および通商関係強化を目指す協定となっている。本協定は関税減免など物の貿易自由化は含まれないが、2国間の貿易円滑化や良き規制慣行の促進などが含まれる。同協定により貿易円滑化が図られることで、輸出者のコストが最大13%削減される。また、良き規制慣行が盛り込まれたことで透明性が確保されることが期待されている。これにより、法的確実性が増し企業のコスト削減にもつながると評価されている。

また、2019～20年のクリスティーナ農務大臣の発言やMAPAのプレスリリースを整理すると、主に自由貿易の促進や環境への配慮についての言及がみられる。このうち自由貿易の促進に関しては、2019年には自由貿易全体の促進や、アラブ諸国、インド、中国、米国などへの輸出拡大に向けた取り組みがあげられている。その後、2020年に入りCOVID19の世界的感染拡大が発生すると、自由貿易に反する保護主義や国内補助金への批判がみられた。また、2020年10月にはメルコスール・EUの自由貿易協定の重要性に言及した。このほか、同月には2019年1月から推進されている農作物などの輸出多様化の取り組みの成果として100品目の市場アクセスが得られた点が強調されている。また、環境への配慮に関しては、EUによるブラジルへのスタンスに対する批判がみられる。EUのうち、メルコスール・EU自由貿易協定に懸念を示すフランスに対しては、森林伐採量を削減しながら食肉、大豆、とうもろこしの生産量を増加している実績を示し、環境保全と農業生産が両立することに言及している。

図表 161 クリステイーナ農務大臣による発言を含む MAPA のプレスリリース等（2019～2020 年）※発言等は抜粋・抄訳

年・月		概要
2019	3	➤ <u>自由貿易の促進に言及</u> ✓ 自由貿易に制限を課せば、食料安全保障や食の持続可能性などの世界的課題を解決することの障害になりうる。自由貿易なしには消費者に届く食品の量、価格、品質、健康を維持していくことは困難である。これは農業生産システムの持続可能性についても同様である。自由貿易への制限は、時に効率的ではない生産手法を刺激し、環境に過負荷をかける可能性がある。
	4	➤ <u>アラブ諸国との農作物貿易促進・自由貿易全体の促進に言及</u> ✓ ブラジルとアラブ諸国との貿易関係強化は重要である。また、この危機においては、農作物貿易へのさらなる障壁を避けるだけでなく、今ある障壁を取り除くための努力をより一層進めなくてはならない。現在、世界における食料生産システムへの懸念が高まっている。食料生産システムのレジリエンスを確保するための最も効率的で持続可能な方法は、責任ある貿易自由化である。
	6	➤ <u>農業生産における環境保全への配慮に言及</u> ✓ リスクと不確実性に満ちたこれまでの歴史をふまえ、我々は科学と明確なルールに基づいたシステムを構築してきた。現在、そして将来においてこうした枠組みは、豊かで質の高い食料を保証する力となるべきである。 ✓ ブラジルは歴史上初めて、環境保全を無視することなく、世界の食料安全保障を保証するために各国をリードしている。
	9	➤ <u>米国との貿易拡大・AG5 に言及</u> ✓ 米国との貿易を拡大し、アジェンダを多様化することで、両国の利益にかなうようにしていきたい。また、ブラジルと米国は、第三市場における関税・非関税障壁の克服に向けて協力すべきである。この取り組みを支援するために、AG5（米国、カナダ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンの農相で構成）を設立した。
	11	➤ <u>米国との小麦貿易の拡大、エタノール使用促進に言及</u> ✓ パーデュー米農務長官との会談を実施した。年間 75 万トンの輸入割当をゼロ関税で設定することで合意した。また、エタノール使用の世界的な拡大に向けて協力していく必要性について議論した。来年のフォローアップ会議では、衛生基準や植物検疫基準の定義に係る問題を検討する見込みである。
	12	➤ <u>中国への農作物輸出拡大の可能性に言及</u> ✓ 大豆と食肉以外の農作物の中国市場向け輸出に関して中国と協議した。輸出可能性のある品目としては大豆粕、家禽粕、家禽遺伝子材料、濃縮大豆たんぱく質などが含まれる。
2020	1	➤ <u>インドとの貿易促進・鶏肉関税引き下げに言及</u> ✓ インドの鶏肉輸出市場は年平均 7% の成長が見込まれる。一方、ブラジル産鶏肉のインドへの輸出増加は輸入関税がどの程度引き下げられるかに依存している。ブラジル産鶏肉に対するインドの関税率は、冷凍ホールチキンの場合は 30% であるが、冷凍カットチキンの場合は 100% に達する。こうした関税障壁のため、ブラジル産鶏肉のインド輸出は困難な状況にある。

年・月	概要
2	➤ EUのブラジルへのスタンスを批判 ✓ EUでブラジル産農産物に反対するキャンペーンがあることに注目している。彼らの対応はまるで虫眼鏡でブラジルを見ているようであり、こうした対応は保護主義であるともいえる。EUがブラジルを罰する理由を見つけられないよう、我々は注意を払わなければならない。現時点でのブラジルの農作物生産規模や将来の拡大可能性を考慮し、EUは明らかにブラジルへのキャンペーンを実施している。
3	➤ COVID19下の各国の保護主義・国内補助金を批判 ✓ G20会議にてCOVID19を利用した保護主義を批判した。また、パンデミック環境下において各国が国内補助金を使うことは、発展途上国にとって不公平な競争を生み出し、それらの国の農村の生活に影響を与えることになる。そして、公正な農業貿易は世界の貧困の大半が集中している農村部に、より良い生活環境の普及を可能にする。
9	➤ EU(フランス)のブラジルへのスタンスを批判 ✓ メルコスールとEUとの自由貿易への懸念は次の理由に基づいている。(1)メルコスール-EU協定は、メルコスール諸国からEUへの牛肉輸出を大幅に増加させる、(2)メルコスールにおける家畜の拡大は、森林破壊を助長する、(3)したがって、メルコスール-EUの自由貿易協定は、メルコスール諸国の森林破壊を大幅に増加させる。また、森林破壊の結果として温室効果ガスの排出量を増加させることになる。 ✓ ブラジルはすでに、森林伐採量を削減しながら食肉、大豆、とうもろこしの生産量を増やすことができることを示している。例えば2004~2012年において、リーガルアマゾン（Amazônia Legal）の森林伐採は83%減少し、農業生産は61%増加した。同じ期間に、牛の群れは800万頭以上増加し、2012年には2億1200万頭に達した。これらのデータは、ブラジル農業の成長と生産性向上を示しており、環境保全とも両立している。
10	➤ EU-メルコスール貿易協定を擁護 ✓ メルコスール-EU貿易協定の承認を擁護する。より良い経済条件、市民の生活の質、雇用と所得の創出、環境保全の強化、温室効果ガスの排出量の削減など、2つのブロックのための利益になる。この協定は、環境、人間の健康、社会的権利を脅かすものではないと言わなければならない。それどころか、多国間のコミットメントを強化し、この問題のベストプラクティスを集約している。
	➤ 輸出の多様化実績（新規100品目の市場アクセス）を強調 ✓ ブラジルは2019年1月以降、国産農産物の100の新市場開放を制覇した。これは、パンデミックを経験しながらも、懸命に働き、回復力を発揮してきたブラジルの生産者に新たな機会をもたらすことを意味する。私は、ブラジルの生産者の能力と競争力を強く信じており、これらの市場拡大は、輸出のアジェンダをますます多様化させるという我々の意図を反映している。

MAPA プレスリリース等より富士通総研にて作成

③ 2019 年以降輸出が拡大した品目¹²⁶

MAPA は、ブラジルの主な輸出生産物である穀物や食肉だけでなく、ナッツ、茶、果物、魚、乳製品、植物などの輸出を通じた市場の多様化を掲げている。この方針に基づきブラジルは 2019 年 1 月以降、100 品目の生産物の輸出市場を開拓した。地域別では米州が 45 品目で最も多く、次いでアジア・太平洋（41 品目）、アフリカ（14 品目）となっている。地域別の内訳をみると、米州はアルゼンチン（17 品目）、コロンビア（8 品目）、ボリビア（6 品目）が上位 3 か国である。アジア・太平洋では、中国、シンガポール、ミャンマーが上位 3 か国でそれぞれ 7 品目となっている。アフリカはエジプト、モロッコ、ザンビアの 3 か国のみがあげられており、エジプトが 8 品目で最も多い。品目分類では、鶏肉製品（13 件）、牛製品（11 件）、家畜（10 件）、牛の遺伝物質（8 件）、豚製品（8 件）が上位 5 つである。

クリスティーナ農務大臣はこうした輸出先の多様化に関して、ブラジルの生産者に新たな機会を与え、農作物輸出のアジェンダをますます多様化させると述べている。

市場アクセスを得たブラジルの非伝統的生産物の例としては、バルナッツ（韓国）、ココナッツの苗（ガイアナ）、ブラジルナッツ（サウジアラビア）、ポップコーンコーン（コロンビア）、ゴマ（インド）、ユーカリの苗（コロンビア）、殻付き卵（シンガポール）、アボカド（アルゼンチン）などがあげられる。また、アラブ首長国連邦やモロッコ向けには家禽遺伝子、米国向けの馬胚など、付加価値の高い製品の市場も開拓している。

図表 162 2019 年以降輸出が拡大された 100 品目（国・品目分類別）¹²⁶ ※オレンジは上位 3 か国

2019 年(合計 34 品目)				2020(合計 66 品目)					
アルゼンチン	5	ザンビア	3	アラブ首長国連邦	2	カタール	2	ボリビア	6
フルーツ	1	牛の遺伝物質 (受精卵・精子)	2	家禽の遺伝物質 (有精卵・雛)	2	牛の遺伝物質 (精子)	2	フルーツ	2
家禽製品	1	家畜	1	アルゼンチン	12	カナダ	1	種子	2
魚類	1	ペルー	1	アニマルワックス	1	牛製品	1	植物	2
種子	1	家禽製品	1	家禽製品	3	グアテマラ	1	ミャンマー	7
豚肉製品	1	マレーシア	1	牛の遺伝物質 (受精卵)	1	フルーツ	1	牛の遺伝物質 (受精卵・精子)	2
インドネシア	1	家畜	1	牛製品	1	コロンビア	4	家畜	2
牛製品	1	メキシコ	2	家畜	1	シリアル	1	動物飼料	1
エクアドル	1	シリアル	1	動物飼料	1	家禽製品	1	豚肉製品	1
家畜	1	動物の皮	1	豚の遺伝物質 (精子)	1	植物	1	乳製品	1
エジプト	3	モロッコ	1	豚肉製品	1	家畜	1	モロッコ	2
家畜	2	魚類	1	乳製品	1	サウジアラビ ア	1	家禽の遺伝物 質 (有精卵・雛)	2
乳製品	1	韓国	2	両生類製品	1	魚類	1	台湾	1
ガイアナ	1	栗	1	イラン	1	シンガポール	7	動物飼料	1
植物	1	茶	1	タバコ	1	牛製品	1	中国	2
カザフスタン	1	中国	5	インド	1	鶏肉製品	5	牛製品	1
家畜	1	フルーツ	1	種子	1	豚肉製品	1	馬肉製品	1
カナダ	1	牛製品	1	エジプト	5	タイ	4	米国	2

¹²⁶ MAPA,

https://www.gov.br/agricultura/pt-br/assuntos/noticias/brasil-abre-100-novos-mercados-externos-para-produtos-agropecuarios/ABERATURADEMERCADOS_geral.pdf, 2021 年 2 月 20 日アクセス

2019 年(合計 34 品目)				2020(合計 66 品目)					
ウシ遺伝物質 (受精卵)	1	動物飼料	1	マメ科	1	牛製品	3	牛製品	1
コロンビア	4	豚肉製品	1	牛製品	1	乳製品	1	馬の遺伝物質 (受精卵)	1
種子	1	乳製品	1	鶏肉製品	2	ベネズエラ	1	-	-
植物	2	日本	1	豚肉製品	1	豚肉製品	1	-	-
豚肉製品	1	乳製品	1	オーストラリア	1	ペルー	3	-	-
サウジアラビア	1	-		乳製品	1	植物	3	-	-
栗	1	-		-		-		-	-

MAPA 資料より富士通総研にて作成